



PHRを活用した本人主体の 健康・医療・介護DXで実現する健康社会

石見 拓

京都大学 医学研究科 社会健康医学系専攻 予防医療学分野
(一社) PHR普及推進協議会

自己紹介

京都大学予防医療学分野 教授

**日本AED財団 専務理事／ILCOR Research and Registry委員会委員長／PHR普及推進協議会
代表理事**

専門：臨床疫学、循環器内科学、蘇生科学、健康科学

1972年 埼玉県生まれ、千葉県佐倉市育ち

1996年 群馬大学医学部（バドミントン部）卒業

2005年 大阪大学医学部医学系研究科救急医学 博士課程

2006年 京都大学大学院医学研究科・MCRコース修了

2015年 京都大学環境安全保健機構 教授

2022年 京都大学大学院医学研究科 教授

**ライフワーク：心肺蘇生、AEDの効果検証と普及。産官学民連携によるPHRサービスの質
向上、普及に力をいれている （医療のフォーカスを院外へ！）**

COI（利益相反）開示

発表者名：石見 拓

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などとして、

- | | | | |
|-----------|----|--------------|-----------------------------|
| ① 顧問： | なし | ⑥ 受託研究・共同研究： | |
| ② 株保有・利益： | なし | | (株)ヘルステック研究所、TIS(株)、東和薬品(株) |
| ③ 特許権使用料： | なし | ⑦ 奨学寄付金： | なし |
| ④ 講演料： | なし | ⑧ 寄付講座所属： | なし |
| ⑤ 原稿料： | なし | ⑨ 贈答品などの報酬： | なし |

その他：社外取締役（無給） (株)ヘルステック研究所



あって当たり前から
当たり前使用するものに



AEDによるパラダイムシフト



医療行為である電気ショックを市民に委ねた⇒救命の**主役は市民！！**



使おう

AEDの設置が進み、心停止からの救命率が劇的に改善！

(Circulation, 2005, 3336. Nat Clin Pract Cardiovasc Med, 2008, 690)

岐阜市ヒアリング2025



パーソナルヘルスレコード

PHR (Personal Health Record)

生涯に渡って個人の健康・医療等に関するデータを管理し、**本人の意思**のもと活用する仕組み。

- 管理・閲覧機能
- リコmend機能
- 第三者提供機能



岐阜市ヒアリング2025

医療の発展⇒ウェルビーイング・健康増進へ

医療



予防医療



健康増進
Well-being

病気の治療



病気の予防・早期発見



運動・食事・
マインドフルネス etc.

医療の発展に伴って求められるもの



- 個別化
- 患者中心のアウトカム（Patient Reported Outcome）
- 患者・家族による意思決定（Shared Decision Making）
- セルフケアの強化
- 個人の生涯に寄り添う（Patient Journey）

本人・家族中心の考え方

健康・医療情報の主役『医療者⇒市民』

標準化医療、病院での治療
医学的価値を重視した治療（例：生存）

デジタル／データの活用



DX（医療・健康支援・
介護etc.の課題解決）

個別化医療、セルフケア、予防
オンライン診療（家でも診療）
患者・家族の意思を尊重した治療

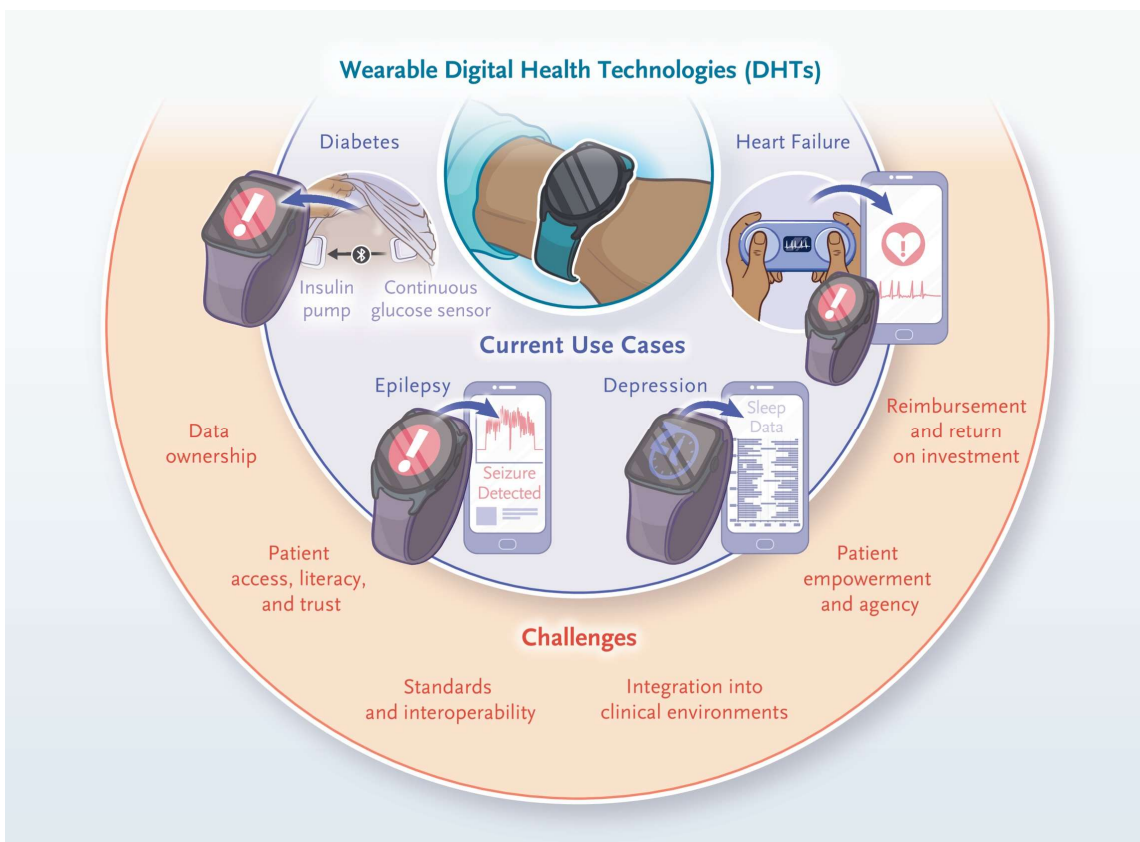
PHR（データ）を活かした健康管理・増進の実践



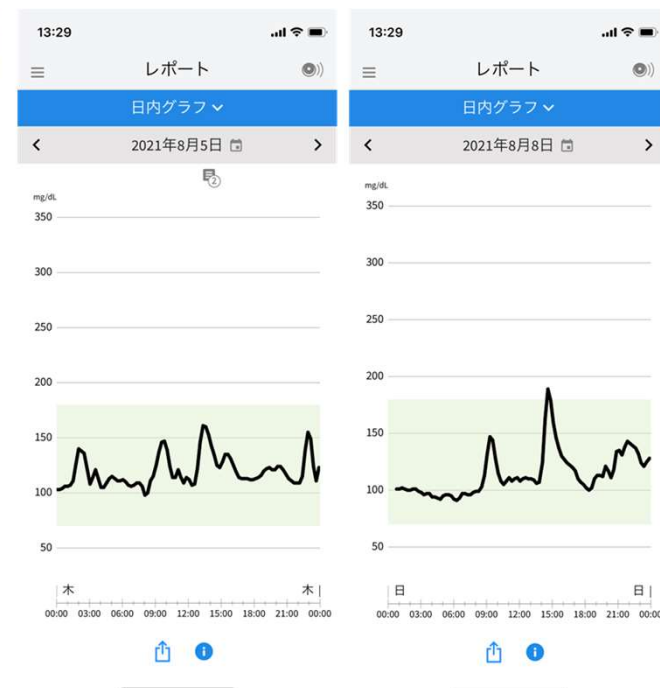
岐阜市ヒアリング2025



PHRがあれば手軽に日々の健康データを記録・活用可能



スマホで血糖測定
Abbott社 HPより



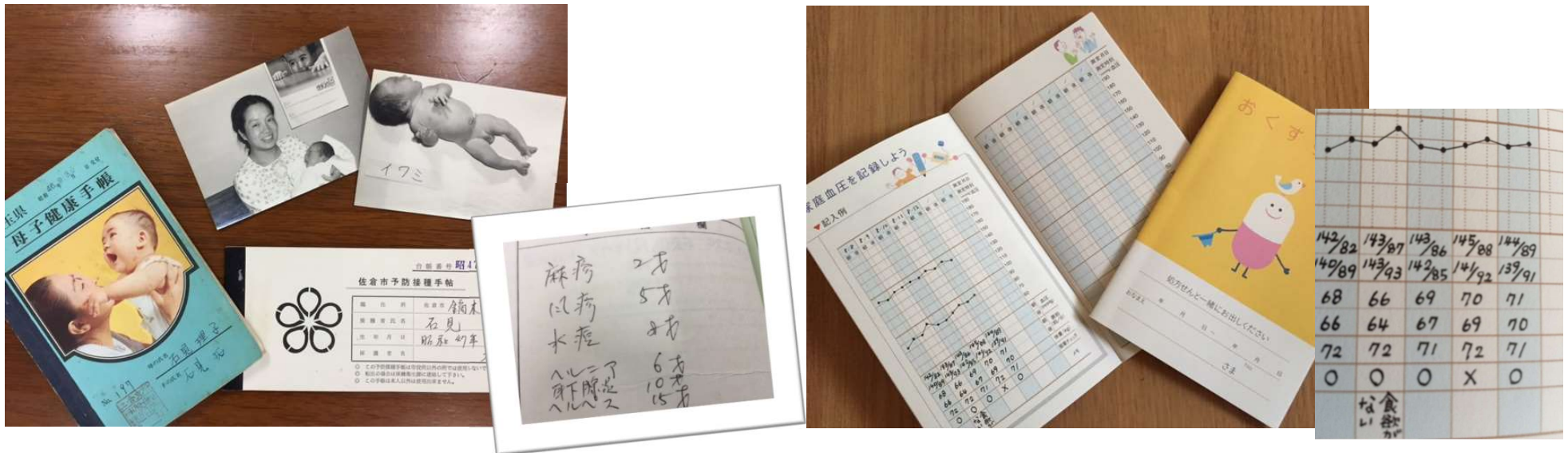
ウェアラブル血圧計
オムロン社 HPより

Ginsburg GS et al. N Engl J Med 2024;390:1118-1127

PHRの普及が期待される背景と課題

- 日本には健診文化・手帳文化がある
- 活用は不十分：手書きデータ、紙のデータetc.
- ばらばらに保管、似たようなデータだが互換性なし

優れた／信頼出来る
医療・健診・検診制度
手帳文化



データヘルス改革に関する工程表

第8回データヘルス改革推進本部資料
(令和3年6月4日)

- マイナポータル等を通じて、自身の保健医療情報を把握できるようにするとともに、UI（ユーザインターフェース）にも優れた仕組みを構築する。
また、患者本人が閲覧できる情報（健診情報やレセプト・処方箋情報、電子カルテ情報、介護情報等）は、医療機関や介護事業所でも閲覧可能とする仕組みを整備する。
→ これにより、国民が生涯にわたり自身の保健医療情報を把握できるようになるとともに、医療機関や介護事業所においても、患者・利用者ニーズを踏まえた最適な医療・介護サービスを提供することが可能になる。

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
自身の保健医療情報を閲覧できる仕組みの整備	健診・検診情報							
	乳幼児健診・妊婦健診		マイナポータルで閲覧可能（2020年6月～）					
	特定健診			マイナポータルで閲覧可能（2021年10月～）				
	事業主健診（40歳未満）	法制上の対応・システム改修				マイナポータルで閲覧可能（2023年度中～）		
	自治体検診 がん検診、骨粗鬆症検診 歯周疾患検診、肝炎ウイルス検診	データ標準化、システム要件整理	システム改修		マイナポータルで閲覧可能（2022年度早期～）			
	学校健診（私立等含む小中高大）	標準的な記録様式の策定	実証実験、システム改修	システム整備でき次第、随時提供開始			マイナポータルで閲覧可能（2022年度中～） ※2024年度中に全国の学校で対応	
	予防接種 定期接種 A類：ジフテリア、百日せき等 B類：高齢者のインフルエンザ、肺炎球菌		2017年6月以降の定期接種歴はマイナポータルで閲覧可能（2017年6月～） ※新型コロナワクチンについては、ワクチン接種記録システム（VRS）を開発・運用 ※可能な限り早い段階で、新型コロナワクチンについても閲覧可能に					
	安全・安心な民間PHRサービスの利活用の促進に向けた環境整備	ガイドライン整備		マイナポータルと民間PHR事業者のAPI連携開始（2021年度早期～） 業界団体等と連携したより高い水準のガイドラインの整備		業界団体等と連携した第三者認証の立ち上げ		適正な民間PHRサービスの提供に向けて第三者認証制度等の運用開始（2023年度～）
	より利便性の高い閲覧環境の在り方の検討		マイナポータルの利便性向上に向けた取組	ヒストリカルな健康情報にアクセスしやすい仕組みなど、利便性の高い閲覧環境の在り方を検討（マイナポータル以外の方策を含む）			検討結果を踏まえた措置（2024年度以降順次～） ※可能なものから2024年度を待たずに順次閲覧可能に	

各種健康診断の結果や
薬剤情報等を本人・家族にPHRとして還元する
取り組みがすでに動き出している！



テーマ別に探す

報道・広報

政策について

厚生労働省について

統計情報・白書

所管の法

🏠 ホーム > 政策について > 分野別の政策一覧 > 健康・医療 > 医療 > 医療DXについて

医療DXについて

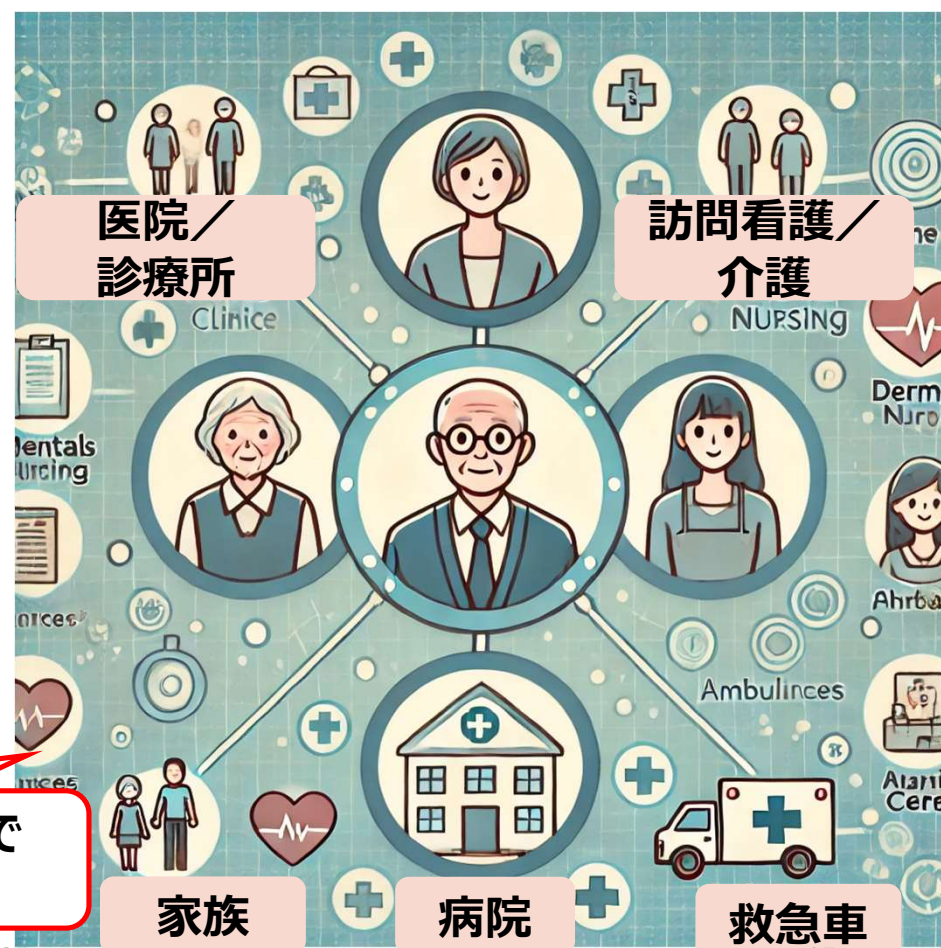


PHRの標準化（規格をそろえる）とつなぐ基盤（仕組み）で本人を起点に繋げていく！

病院／事業者等の組織を中心としたデータ共有から、**本人・家族が主役のデータ共有へ**



本人の意思（同意）を前提とするので
個人情報保護の問題も解決できる

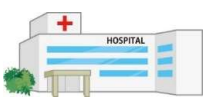


●●● 日本におけるPHR／健康・医療データ活用の目指すべき将来

個人、各組織がバラバラに保有している健康・医療情報を生涯にわたって、個人が保有し、自分の意思で活用できる社会の実現

現状

病院



学校



企業健保



行政



- 個人へのフィードバックの多くは紙ベース
- 元データは各組織が保有
- データの流通規格が定まっておらず繋がらない

ライフログ



流通基盤によるデータ連携の実現・促進！



多様な民間
PHRサービス

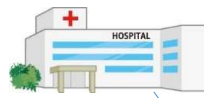
標準化！
(データ移行API仕様書公開・
モジュール提供) 2021年～協議会で検討

2023年～AMED研究

Copyright PHR Council

目指す姿

病院



学校



企業・健保



行政



PHRサービスA

PHRサービスB

PHRサービスC

PHRサービスD

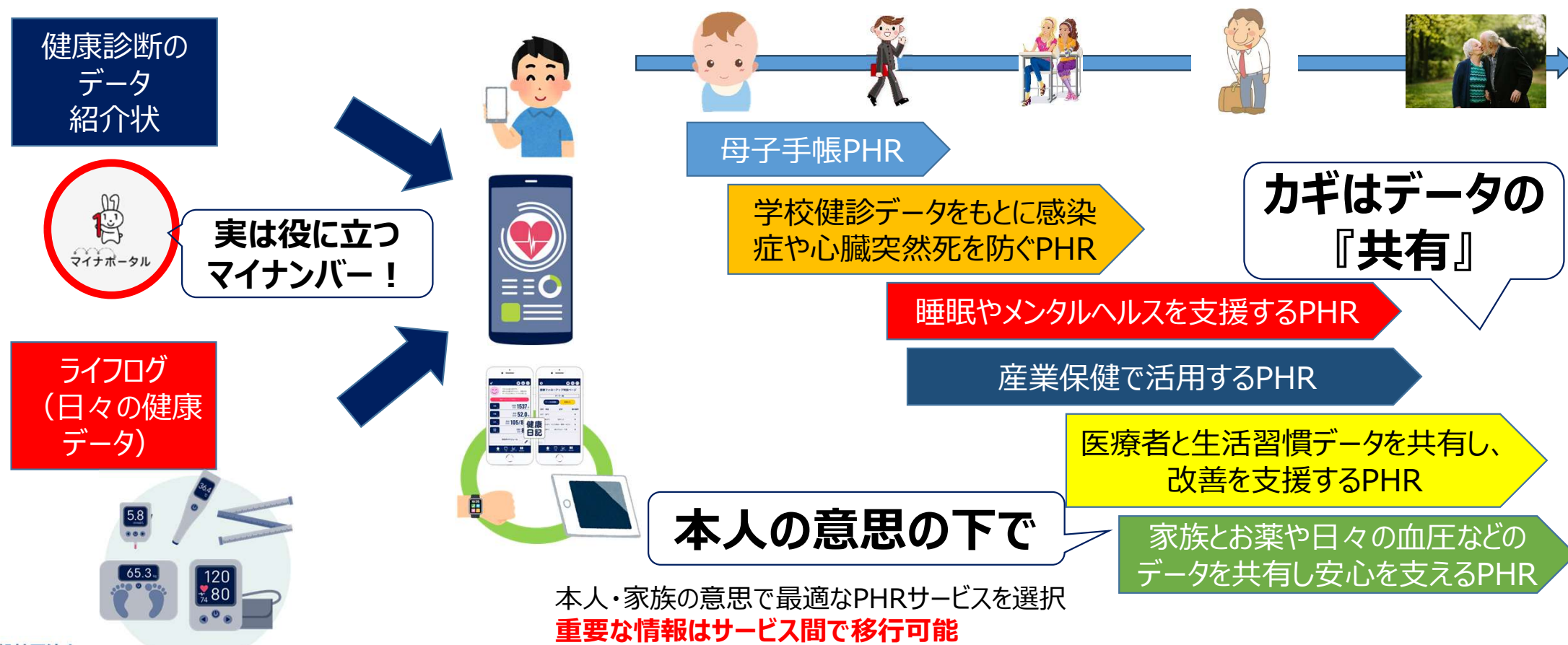
PHRサービスE



本人・家族の意思で最適なPHRサービスを選択
重要な情報はサービス間で移行可能

●●● 日本におけるPHR／健康・医療データ活用の目指すべき将来

個人、各組織がバラバラに保有している健康・医療情報を生涯にわたって、個人が保有し、自分の意思で活用できる社会の実現



●●● PHR普及推進協議会について（Since 2019）

目的

パーソナルヘルスレコード（PHR）の適正な普及推進のため、情報交換・情報発信を行い、社会の健康、安全のより一層の向上に寄与すること

ここで対象とするPHRは個人の生活に紐付く医療・介護・健康等に関するデータ（**Person Generated Data**）を本人の判断のもとで利活用する仕組みを前提とする

事業内容

- ① PHRの普及、PHRデータの流通促進に関する課題、利用事例、効果等の調査・研究事業
- ② PHRの普及と利用促進に係るガイドライン及び認定制度等の整備事業
- ③ PHRに関する啓発・広報活動事業
- ④ PHRの普及推進に向けた政策提言活動事業
- ⑤ 前各号に掲げる事業に付随又は関連する事業

■ 構成員（2023年2月現在）

【名誉会長】	
永井 良三	自治医科大学 学長
【代表理事】	
石見 拓	京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻予防医療学分野
【副理事長】	
大神 明	産業医科大学産業生態科学研究所 作業関連疾患予防学
【専務理事】	
阿部 達也	株式会社ヘルステック研究所
【常務理事】	
天野 雄介	東和薬品株式会社 / Tスクエアソリューションズ
【理事】	
今村 久美	認定NPO法人カタリバ
大山 訓弘	日本マイクロソフト株式会社
黒田 誠	(元) 総合メディカル株式会社
小林 寛史	一般社団法人 ICTまちづくり共通プラットフォーム推進機構
阪本 雄一郎	佐賀大学医学部 救急医学講座
水戸 重之	TMI総合法律事務所
矢作 尚久	慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科
山口 育子	認定NPO法人 ささえあい医療人権センターCOML
山本 景一	大阪歯科大学 医療イノベーション研究推進機構 事業化研究推進センター
【顧問】	
山崎 俊巳	一般社団法人エコロジー・カフェ 理事
【監事】	
野田 博明	公益財団法人日本AED財団 監事



賛助会員・特別会員

賛助会員：50社

特別会員：22団体（うち自治体15）（2025年4月14日 現在）

- ・ アストラゼネカ株式会社
- ・ 株式会社アルム
- ・ 株式会社EMシステムズ
- ・ インターシステムズジャパン株式会社
- ・ 株式会社Welby
- ・ 株式会社Wellmira
- ・ AIデータ株式会社
- ・ MRT株式会社
- ・ エムジーファクトリー株式会社
- ・ 株式会社エムティーアイ
- ・ エレコムヘルスケア株式会社
- ・ 沖電気工業株式会社
- ・ オムロンヘルスケア株式会社
- ・ キュアコード株式会社
- ・ 公益財団法人 京都高度技術研究所
- ・ クロスウェイ株式会社
- ・ KDDI株式会社
- ・ 沢井製薬株式会社
- ・ 株式会社三和製作所
- ・ シミックホールディングス株式会社
- ・ 株式会社スカラ
- ・ 株式会社スギ薬局
- ・ セコム株式会社
- ・ 医療法人社団 善仁会
- ・ ソフトバンク株式会社
- ・ 株式会社DUMSCO
- ・ 武田薬品工業株式会社
- ・ TIS株式会社
- ・ TXP Medical株式会社
- ・ テルモ株式会社
- ・ 東京海上日動火災保険株式会社
- ・ 東和薬品株式会社
- ・ 有限責任監査法人トーマツ
- ・ 日本オラクル株式会社
- ・ 日本光電工業株式会社
- ・ 日本生命保険相互会社
- ・ 日本マイクロソフト株式会社
- ・ PHCホールディングス株式会社
- ・ PSP株式会社
- ・ 合同会社beyond
- ・ フクダ電子株式会社
- ・ フューチャー株式会社
- ・ ブラック・ダック・ソフトウェア合同会社
- ・ 株式会社ベルシステム24
- ・ 株式会社ヘルステック研究所
- ・ みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社
- ・ 三井住友フィナンシャルグループ
- ・ メドピア株式会社
- ・ 株式会社ユーズテック
- ・ 株式会社ルネサンス
- ・ 一般社団法人阿波あいネット
- ・ 大阪府
- ・ 門真市
- ・ 神奈川県
- ・ 北九州市
- ・ 吉備中央町
- ・ 京都市
- ・ 京都府
- ・ 神戸市
- ・ 一般社団法人スマートシティ・インスティテュート
- ・ デンマーク王国大使館
- ・ 東京都デジタルサービス局
- ・ 公益社団法人 日本医師会
- ・ 兵庫県
- ・ フィンランド大使館商務部
- ・ 前橋市
- ・ 松本市
- ・ 三重県多気町
- ・ 三重県明和町
- ・ 三重県度会町
- ・ 米子市
- ・ 一般社団法人ライフインテリジェンスコンソーシアム

（50音順）

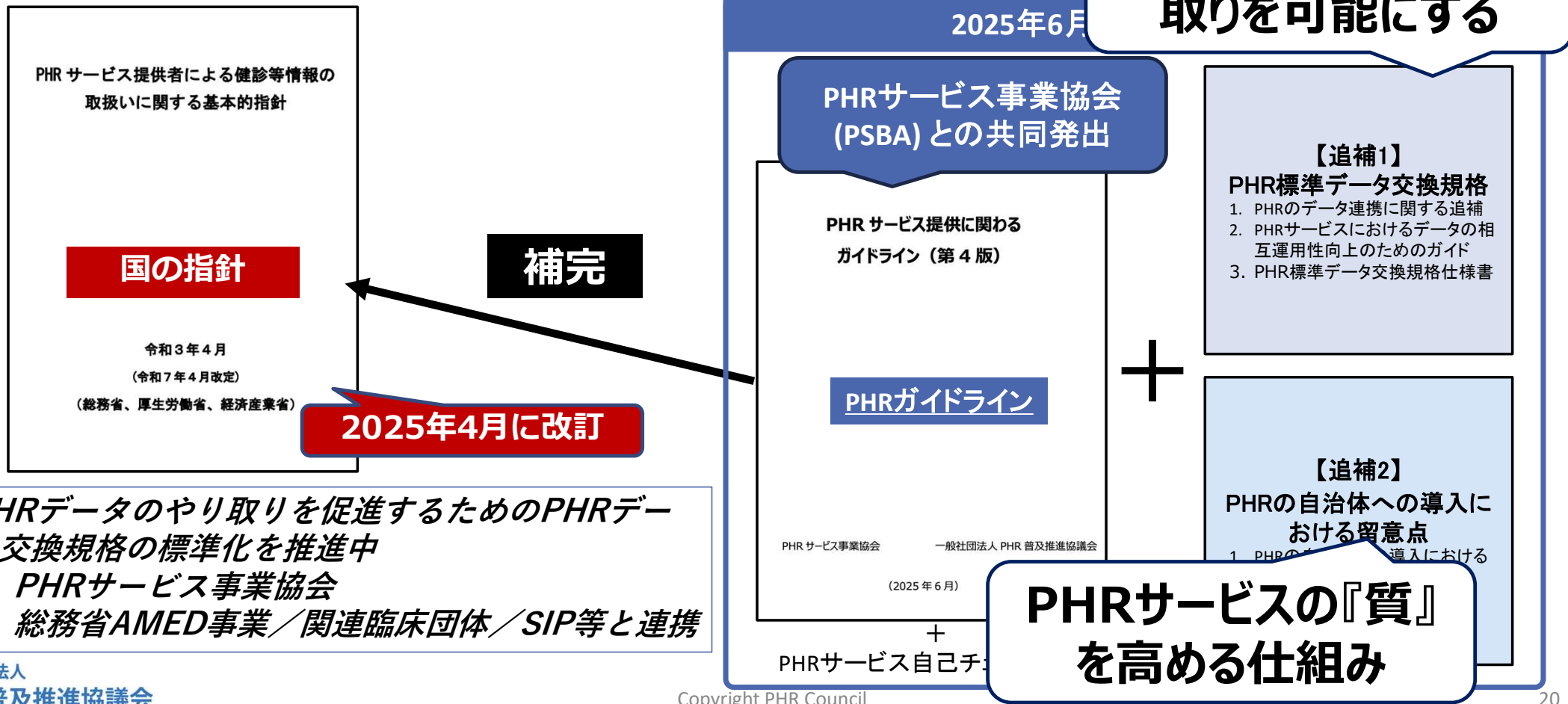
一般社団法人

PHR 普及推進協議会

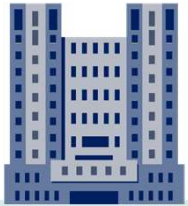
Copyright PHR Council

PHRサービスの提供に関わるガイドラインの策定

国の示す指針を基本に、PHRサービスを提供する者が踏まえるべきルールや規範を整理して提示するガイドラインの策定・普及を実施



PHRの活用によるメリット



自治体・企業 ・健保組合

- ・健康寿命の延伸
- ・健康増進による企業/
組織のパフォーマンス
向上
- ・医療費・保険料減
- ・ビッグデータの分析に
よる健康課題の明確化
- ・コミュニティ強化



医療機関

- ・診療/生活指導の質向
上
- ・生活歴/病歴聴取の効
率化
- ・二重検査や、薬剤の
二重投与、アレルギー
回避



本人・家族

- ・健康意識の向上、健康
増進
- ・健康寿命の延伸
- ・病歴/生活歴/服薬歴
の集約
- ・企業からのインセン
ティブ授受
- ・家族間/コミュニティ
メンバー間での交流



PHR事業者

- ・顧客獲得による広告
収入
- ・ビッグデータの販売
- ・健康意識の高い顧客
の紹介



企業・研究者

- ・ビッグデータに基づ
く新規サービス開発
(保険等)
- ・顧客へのアプローチ
手段
- ・健康増進系研究や
サービス開発のモニ
ター獲得

データ提供者

データ利用者

PHRを介した情報連携が可能な仕組み作り

PHRを介して情報連携が可能な仕組みが出来上がりがつつある！

スマホOS標準アプリとPHRサービスとのデータ交換規格



OS独自の公開APIにて連携

- ・ iOS:ヘルスケア
- ・ Android:Googlefit

計測機器からPHRサービスへのデータ取込規格

- ・ ISO/IEEE 11073 (Continua) etc



デバイス

一般社団法人
PHR普及推進協議会

PHRサービス間のデータ交換規格

- ・ マイナポータルAPI形式
- ・ IEEE 1752(Open mHealth) etc.

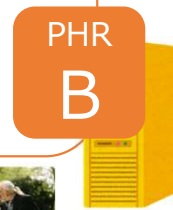


PHR
A



マイナポータルAPIの
出力フォーマット
(マイナポータルAPI形式)

マイナポータル



PHR
B

PHRサービスと医療情報システム/EHRとのデータ交換規格

- ・ OMH on FHIR 等
- ・ SMART on FHIR
- ・ 健康診断結果報告書 HL7FHIR記述仕様 等

医療情報システム
/EHR

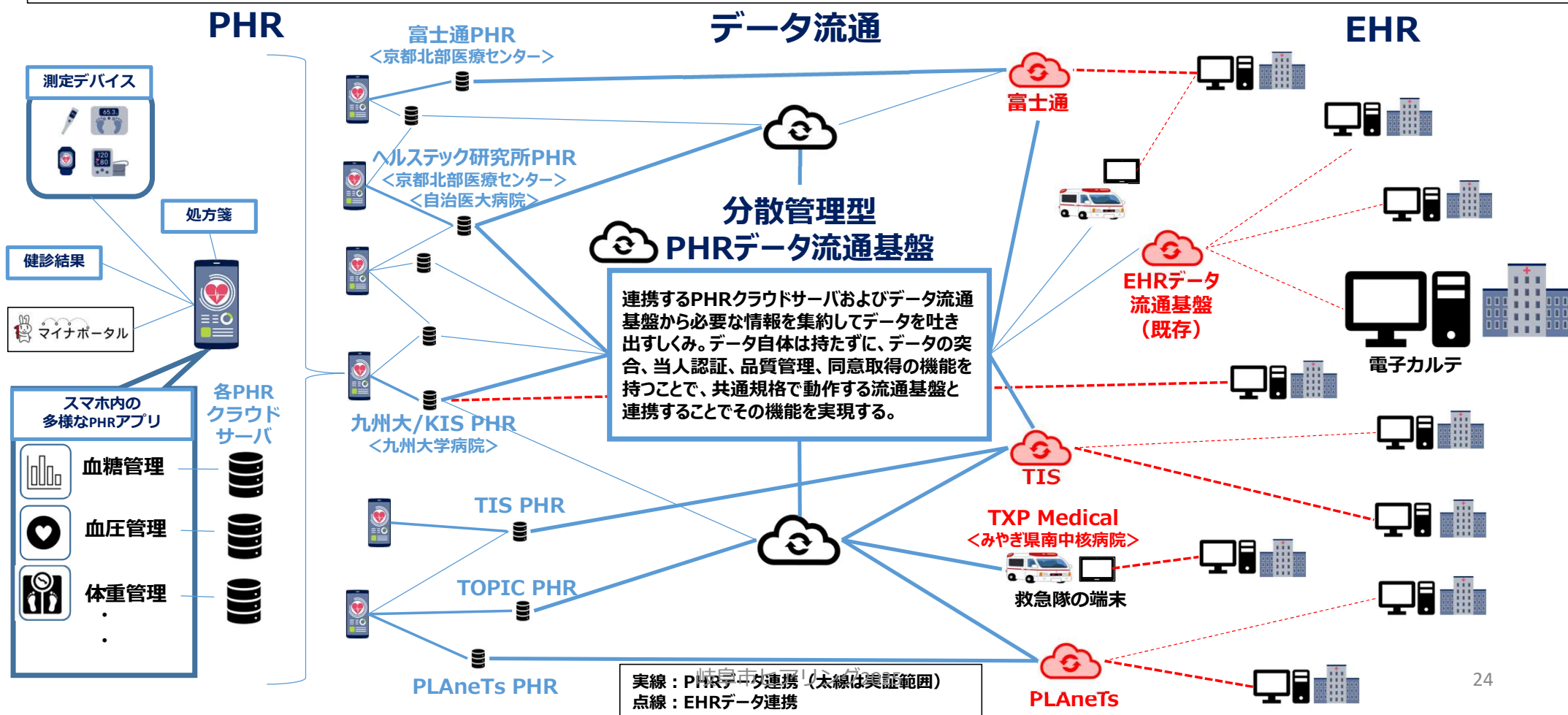


健診機関等



医療高度化に資する分散管理型PHRデータ流通基盤に関する研究開発

目的： **本人・家族の意思の下で**複数のPHR-EHR間のデータ交換を実現する分散管理型PHRデータ流通基盤を開発・実証し、成果物を公開するとともに社会実装に向けた提言を行うことで、医療の質向上・高度化に寄与すること。



生活習慣病領域のユースケース



例：50代 男性 健康診断で境界型糖尿病を指摘され専門医を初診。PHRに記録されるライフログデータと、過去の特定健診における体重、HbA1c等の経年変化を用いた生活指導により、HbA1c 6.0%未満の達成を目指す。

PHR項目	データソース
血糖値 (医療機関)	病院での検査結果、健診結果 (マイナポ連携含む)
血糖値 (家庭)	CGM等による自己測定
HbA1c	病院での検査結果、健診結果 (マイナポ連携含む)
体重 (医療機関)	病院での検査結果、健診結果 (マイナポ連携含む)
体重 (家庭)	デバイス連携、患者の手入力
血圧 (医療機関)	病院での検査結果、健診結果 (マイナポ連携含む)
血圧 (家庭)	デバイス連携、患者の手入力
※歩数 (歩/日)	スマホ・ウェアラブルデバイスによる自動測定
※処方歴	マイナポータル or 電子処方箋

黒字：医療機関・健診機関から得られるデータ

赤字：ライフログ等の本人のPHRから日々取得されるデータ

生活習慣病対策は 日々の生活を記録しながら『続ける』ことが重要

- 楽しい運動・方法を見つける
- 誰かと一緒にやる
- 生活に取り入れる
- イベントに参加する

プラスせんぽ
+1000 



一日8000歩！
データを記録しながら続ける。
データを見ながら健康管理・増進。

健康・医療情報を個人が保有し、自分の意思で診療時に活用できる社会へ

京都府内のクリニックにて糖尿病患者がかかりつけ医に『健康日記』アプリに記録した健康や医療に関わるデータを提示し診療時に活用する実証事業を実施中

PHRアプリの活用

歩数や体重、血圧、服薬情報、体温、体調などの日々の健康状態を自身で記録・管理することにより、自らの体調変化を客観的に見ることができます。

毎日の健康状態を記録する無料アプリ



関連サイト

医療者が『健康日記』内に保存された健診結果や日々の健康データを、総合的、かつ日常診療でも利用可能なサマリーとして表示・閲覧できるサービスを構築し、実現に向けたとりくみを進めています。

データの取得・入力

- マイナポータル
- 健診機関での健康診断 (京都工場保健会等)
- 各種PHRサービス
- お薬手帳 QRコード
- 自己測定ウェアラブル
- 本人入力

15万ダウンロード



統計データ等

研究機関・データ活用企業

個人の同意のもと
患者画面のQRコードをスキャン
または
ワンタイムID・パスワードの入力

医療への活用



医療者・健康指導

とりくみ事例

PHRアプリ「健康日記」を活用した、医療者向けのPHRデータ閲覧サービスを展開 (糖尿病領域、京都府医師会と共同で実証中)

糖尿病患者診療用の医療者向け画面



ユースケース

- 1 糖尿病 (生活習慣病) のセルフケア / 個々の生活や経過に合わせた治療の強化
日々の歩数や体重、血圧、血糖などの変化、処方や検査履歴をホームドクターにシェアし、日常生活に紐づいた具体的なアドバイスや医療を提供してもらえる
- 2 新型コロナウイルス感染症などの感染症流行時の健康観察
日々の体温や感染症の症状を定型化して記録し、必要な時に必要な相手に報告。ワクチン接種歴を正確に把握し、管理。

関連サイト

データを要約する等
医療者の負担も軽減

カギはデータの
『共有』

本人の意思
の下で



救急・災害領域のユースケース

(震災時の健康観察／感染症予防／医療者・消防機関等との連携)

分散管理型
PHRデータ流通基盤

救急隊の端末

医療機関

①PHR項目の取得

②API連携

救急災害時は、PHRが役に立つ分かりやすい事例

75歳男性

地震で被災し1.5次～2次**避難所にて避難中**。

高血圧とCOPDで通院歴あり。DMAT隊、JMAT隊、日赤等の支援は入ったが、**既往歴、服薬歴などの収集に難渋**している。

避難所で**感染症が蔓延しつつあり、感染管理が必要**。

黒字は、医療機関・健診機関から得られるデータ（厚労科研久志本班の標準項目案から選定）

赤字は、ライフログ等の本人のPHRから日々取得される項目の中から選定

PHR項目

年齢
性別
既往歴 手術歴
アレルギー情報
体重（医療機関）
血圧（医療機関）
体重（家庭）
体温（家庭）
酸素飽和度（家庭）
血圧（家庭）
処方歴

終末期の蘇生処置への意思も検討

岐阜市ヒアリング2025

救急災害時のPHR活用が期待される例①

救急医療情報キットとは もしものときに必要な情報を冷蔵庫に

ひとり暮らしの高齢者等の安心・安全を確保するため、かかりつけ医や持病などの医療情報、緊急連絡先などの情報を専用の容器に入れ、自宅の冷蔵庫に保管しておくことで、万一の緊急時に備えるものです。

「もしも…」のときに、かけつけた救急隊員がキットの情報を確認することで、適切で迅速な処置が可能となり、ご家族への連絡もスムーズに行えます。



大阪府吹田市のHPより

●●● 救急災害時のPHR活用が期待される例①

救急医療情報キットご利用の流れ

救急医療情報シートに**記入し**、キットに入れて冷蔵庫に保管します

<救急医療情報キットの中に入れるもの>

- 救急医療情報シート
緊急連絡先、かかりつけ医、血液型などを記入
※内容に変更があったときは、随時各自で更新してください。
- 写真（本人確認ができるもの）
- 健康保険証の写し
- 診察券の写し
- 薬剤情報提供書、お薬手帳の写し

- 記入するのは面倒
- 正確かどうか？・・・
- 最新かどうか？
- 隣の町に引っ越した時にも使える??

- 標準化されたPHRがあれば
- データは自動で共有
 - 正確かつ迅速
 - 最新（自動更新）
 - どこでも使える

救急災害時のPHR活用が期待される例②

新型コロナウイルスのような感染症パンデミック



5. 新型コロナウイルスの予防接種は受けましたか？ ☐ はい ☐ いいえ

1回目 接種日: 2021年 5月 1日 製造会社: ファイザー モデルナ アストラゼネカ 他

2回目 接種日: 2021年 6月 1日 製造会社: ファイザー モデルナ アストラゼネカ 他

3回目 接種日: 2021年 2月 3日 製造会社: ファイザー モデルナ アストラゼネカ 他

6. 普段の生活についてお聞きします。

職業(会社員) 職場・学校の場所(主な) 通勤手段(車)

職場・学校に体調が悪い方はいませんか？ ☐ はい ☒ いいえ

(ペットを飼っていますか？) はい (下) ・ いいえ

食飲 良好 ・ 普通 ・ 不振 ☐ 日 回/便秘薬の使用 有 ・ 無 ☐

便秘 普通 ・ 下痢 ・ 便秘 ☐ 睡眠剤の使用 有 ・ 無 ☐

睡眠 良好 ・ 普通 ・ 不眠 ☐ 睡眠剤の使用 有 ・ 無 ☐

喫煙 吸う [1 日 / 本 / 年] ・ 吸わない / やめた [喫煙歴 年]

お酒 飲む [毎日 / 週に 回 / 月に 回]

[日本酒 合 ・ ビール 350 ml ・ 焼酎 合 ・ その他

101 1 救急外来受診票

氏名: 石見 拓様 年齢: 33 性別: 男 病歴: なし

1. 主訴(主訴を簡潔に記述してください。)

2. 既往歴(既往歴を簡潔に記述してください。)

3. 現病歴(現病歴を簡潔に記述してください。)

4. 家族歴(家族歴を簡潔に記述してください。)

5. 検査結果(検査結果を簡潔に記述してください。)

6. 処置(処置を簡潔に記述してください。)

7. 経過(経過を簡潔に記述してください。)

8. 医師の診断(医師の診断を簡潔に記述してください。)

9. 医師の指示(医師の指示を簡潔に記述してください。)

10. 医師の署名(医師の署名を簡潔に記述してください。)

11. 医師の印(医師の印を簡潔に記述してください。)

12. 医師の氏名(医師の氏名を簡潔に記述してください。)

13. 医師の職名(医師の職名を簡潔に記述してください。)

14. 医師の所属(医師の所属を簡潔に記述してください。)

15. 医師の電話番号(医師の電話番号を簡潔に記述してください。)

16. 医師のメールアドレス(医師のメールアドレスを簡潔に記述してください。)

17. 医師の住所(医師の住所を簡潔に記述してください。)

18. 医師の生年月日(医師の生年月日を簡潔に記述してください。)

19. 医師の性別(医師の性別を簡潔に記述してください。)

20. 医師の職業(医師の職業を簡潔に記述してください。)

21. 医師の学歴(医師の学歴を簡潔に記述してください。)

22. 医師の学位(医師の学位を簡潔に記述してください。)

23. 医師の資格(医師の資格を簡潔に記述してください。)

24. 医師の経験(医師の経験を簡潔に記述してください。)

25. 医師の業績(医師の業績を簡潔に記述してください。)

26. 医師の功績(医師の功績を簡潔に記述してください。)

27. 医師の栄誉(医師の栄誉を簡潔に記述してください。)

28. 医師の賞状(医師の賞状を簡潔に記述してください。)

29. 医師の表彰(医師の表彰を簡潔に記述してください。)

30. 医師の称号(医師の称号を簡潔に記述してください。)

31. 医師の地位(医師の地位を簡潔に記述してください。)

32. 医師の権限(医師の権限を簡潔に記述してください。)

33. 医師の責任(医師の責任を簡潔に記述してください。)

34. 医師の義務(医師の義務を簡潔に記述してください。)

35. 医師の権利(医師の権利を簡潔に記述してください。)

36. 医師の自由(医師の自由を簡潔に記述してください。)

37. 医師の平等(医師の平等を簡潔に記述してください。)

38. 医師の正義(医師の正義を簡潔に記述してください。)

39. 医師の誠実(医師の誠実を簡潔に記述してください。)

40. 医師の公正(医師の公正を簡潔に記述してください。)

41. 医師の透明(医師の透明を簡潔に記述してください。)

42. 医師の信頼(医師の信頼を簡潔に記述してください。)

43. 医師の尊重(医師の尊重を簡潔に記述してください。)

44. 医師の理解(医師の理解を簡潔に記述してください。)

45. 医師の協力(医師の協力を簡潔に記述してください。)

46. 医師の貢献(医師の貢献を簡潔に記述してください。)

47. 医師の価値(医師の価値を簡潔に記述してください。)

48. 医師の意味(医師の意味を簡潔に記述してください。)

49. 医師の目的(医師の目的を簡潔に記述してください。)

50. 医師の使命(医師の使命を簡潔に記述してください。)

51. 医師の理想(医師の理想を簡潔に記述してください。)

52. 医師の夢(医師の夢を簡潔に記述してください。)

53. 医師の希望(医師の希望を簡潔に記述してください。)

54. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

55. 医師の祈り(医師の祈りを簡潔に記述してください。)

56. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

57. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

58. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

59. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

60. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

61. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

62. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

63. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

64. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

65. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

66. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

67. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

68. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

69. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

70. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

71. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

72. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

73. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

74. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

75. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

76. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

77. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

78. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

79. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

80. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

81. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

82. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

83. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

84. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

85. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

86. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

87. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

88. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

89. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

90. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

91. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

92. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

93. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

94. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

95. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

96. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

97. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

98. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

99. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

100. 医師の願い(医師の願いを簡潔に記述してください。)

石見が感染して、地域の中核病院を受診した時に感じたこと



石見 拓様

服用開始日: 2022年07月21日 5日分

1回に錠剤 1錠 (2種類)

【お薬手帳にお貼りください】3628

【お薬手帳】

●1日 服用時、車運転等危険な作業は避けてください。

【お薬手帳】

お薬手帳番号: 001121478

石見 拓様

ロキソプロフェン錠 60mg (ロキソ)

1錠 1回 1日 1回 10分

トラネキサム酸錠 250mg (トラネ)

1錠 1回 1日 1回 10分

【お薬手帳】

お薬手帳番号: 001121478

石見 拓様

ロキソプロフェン錠 60mg (ロキソ)

1錠 1回 1日 1回 10分

トラネキサム酸錠 250mg (トラネ)

1錠 1回 1日 1回 10分





- 細やかな配慮
- みんなまじめに働いている
- でも、時間がかかる
- 結果、数少ない患者さんしか見れない
- 患者も医療者もみんな疲れる

デジタル化以外は完璧！。だけど・・・

●●● PHRを活用した健康作り、医療の質向上・効率化の例②

新型コロナウイルスに感染した時の活用事例

- 体温や血圧は機械から瞬時に記録
- カンタン、正確



- 薬局とも素早く情報共有
- 正確なお薬を素早くもらえる



- 症状は都度記録し、必要な時に共有
- ワクチン接種歴も正確な情報を保管・共有

**データを正確・迅速に記録し
シェアすることで業務効率化**



- 電子カルテとも瞬時にデータ共有
- 正確な情報で素早く診断
- 医療者の負担軽減

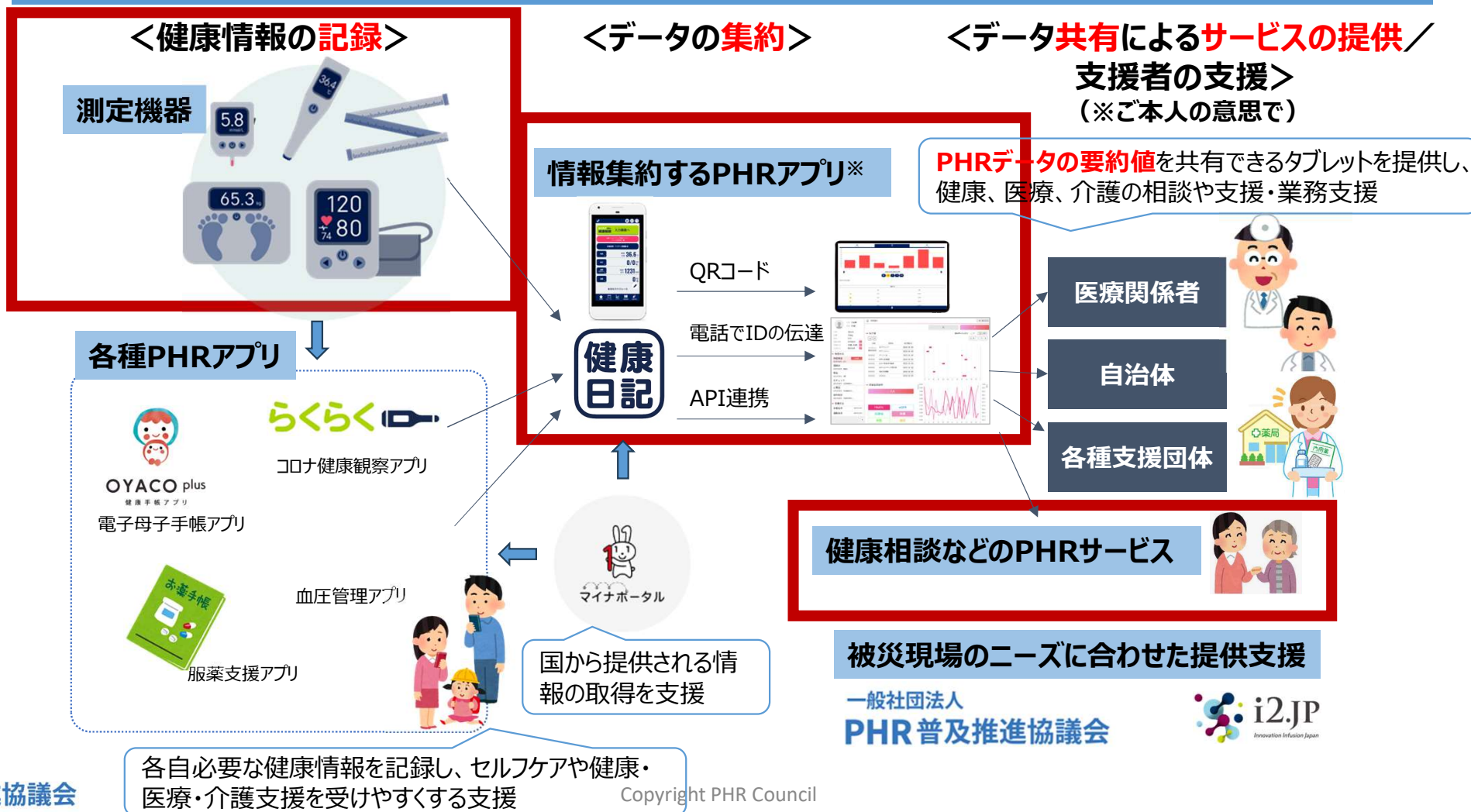
コロナ時代への対応 生涯PHRアプリ「健康日記」で健康観察

- 事業者や大学は、学生・職員の健康状態の観察、および報告される情報の集計・管理をすぐに開始する必要があった
- アプリで手間をかけずに入力でき、実績を伴った安心で安価な健康観察サービスを、多くの事業者が求めた
- 保健所・自治体での濃厚接触者向け健康観察アプリとして、国内最大級の利用実績を基に開発された



●●● PHR普及推進協議会 被災地支援活動

PHRC構成メンバーによるPHRを活用した被災地支援の骨格（案）



●●● PHR普及推進協議会 被災地支援活動 これまでの取り組み

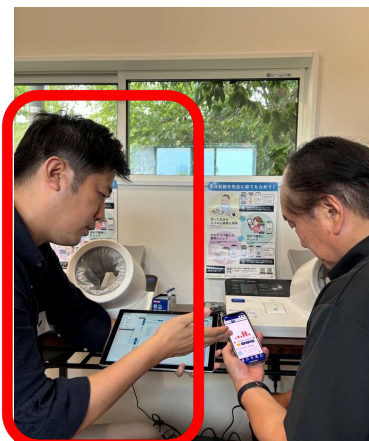
PHR普及推進フォーラム

能登半島地震 被災地支援
- PHRで何ができるか考えよう -



調印式実施／ブース出展

「北陸スポーツ振興協議会株式会社と協定」



定期PHR測定会を開始

地元住民の方にもご協力いただき実施



2024/1/1

2/4

4/8

7/15

8/15

2024年10月～

震災発生



▶田鶴浜体育館駐車場



right PHR Council

一般社団法人
PHR普及推進協議会

良い取り組みだと思うが、現場はそれどころじゃないんです！！



By Chat GPT 4

大事な取り組みだが、発災してからでは間に合わない

PHR標準化/データ相互運用モデル構築

■ PHR普及推進協議会・総務省PHR流通基盤構築AMED事業

- 生活習慣病領域、救急災害領域のPHR（ライフログ）標準化項目
⇒循環器領域等へ拡大

PHR 項目 (ライフログ)	最小単位	救急・ 災害	生活習 慣関連	循環器 疾患
家庭体重	測定記録全て	○	○	○
家庭血圧	測定記録全て	○	○	○
歩数（歩/日）	1日		○	○
家庭体温	測定記録全て	○		
家庭SpO ₂	測定記録全て	○		○

項目の選定	生活習慣改善への活用				救急災害時での活用	
	9臨床団体による 生活習慣病自己管理項目セット集／PHR推奨設定				日本救急医学会 日本災害医学会	JAHIS電子版お薬手帳デー タフォーマット仕様書 Ver.2.2
	糖尿病	高血圧	脂質異常症	CKD	救急災害領域	お薬手帳

関連領域の専門家集団と相談



PHRサービス事
業者間での
データ交換規格

選定された項目に対応するデータ交換規格を推奨

PHR 項目（マイナ ポータル経由）	最小単位	救急・ 災害	生活習 慣関連	循環器 疾患
【健診情報】				
体重				
血圧				
HbA1c				
LDL-C				
HDL-C				
TG				
eGFR	測定記録全て	○	○	○
尿たんぱく	測定記録全て	○	○	○
尿アルブミン	測定記録全て	○	○	○
【調剤歴】	記録全て	○*	○*	○*

臨床系学会で項目選定



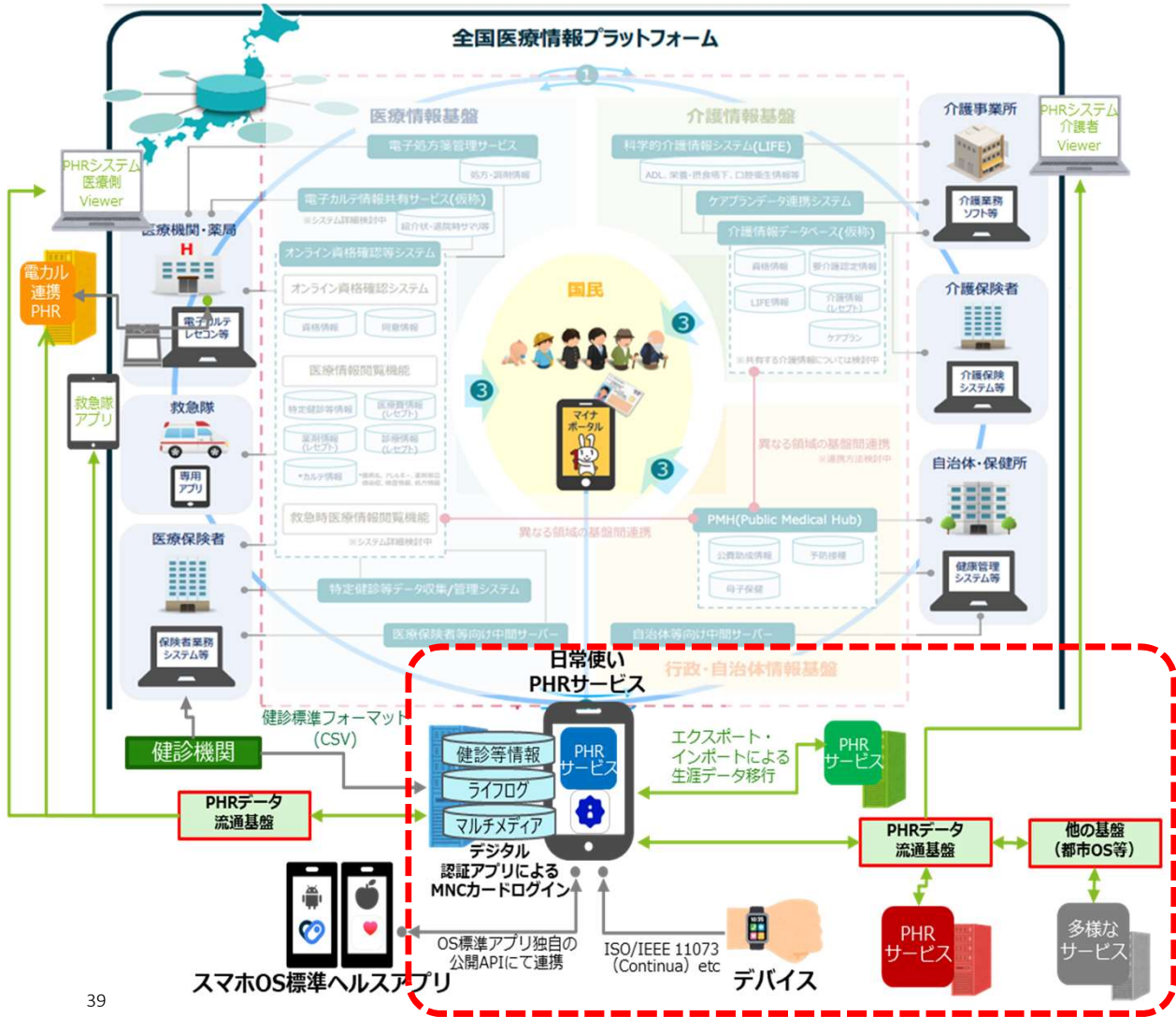
PHR普及推進協議会で標準規格化



循環器、がんPRO（Patient Reported Outcome）、痛み、介護・・・と領域拡大へ

標準化が特に有用と思われる項目を、関係学会とコンセンサスを得ながら絞り込み5項目を選定

国が提供するサービス（全国医療情報プラットフォーム⇒マイナポータル）と 民間・自治体が提供するPHRサービス（★赤点線部分）の組み合わせによる医療DX

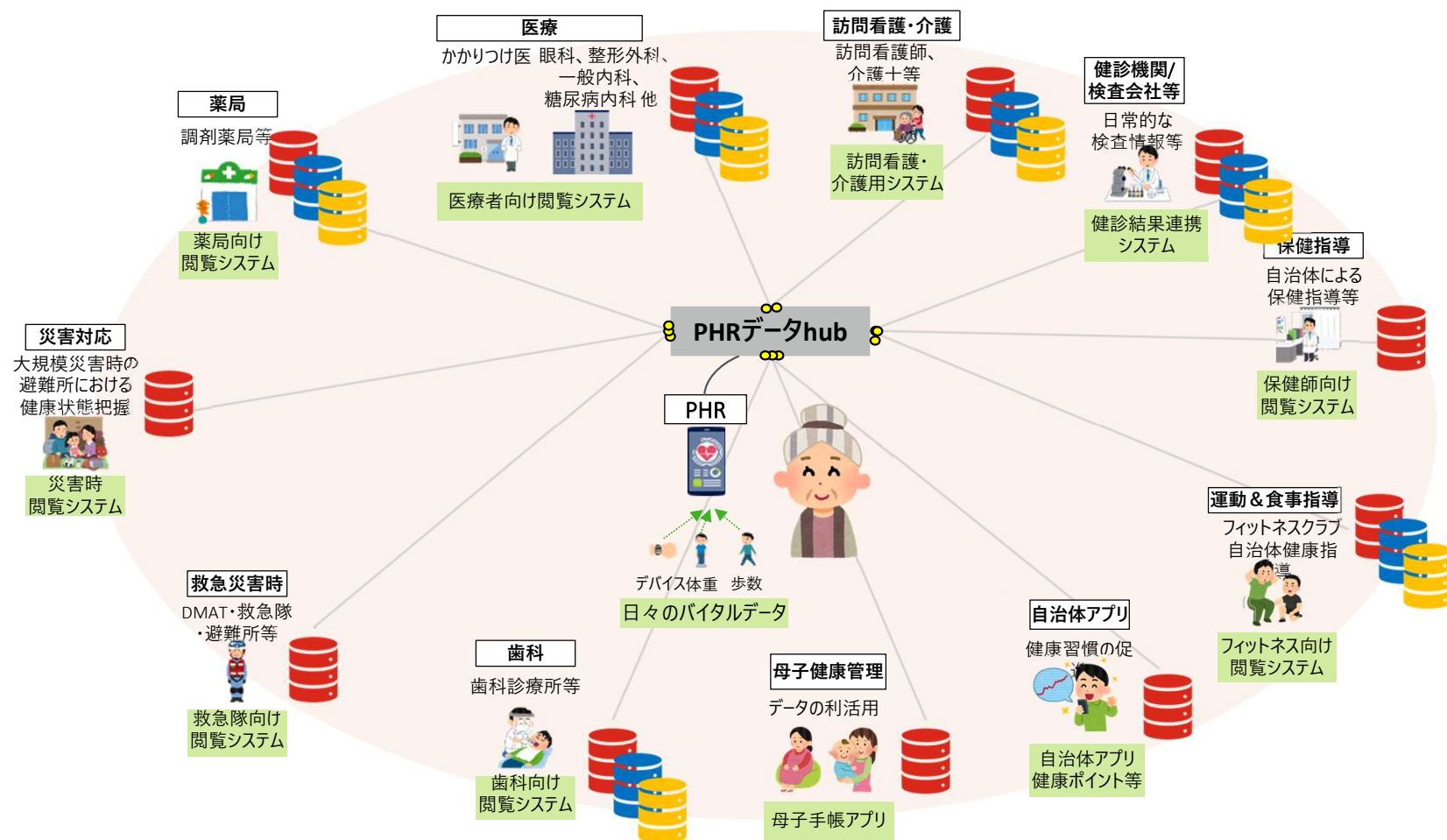


	全国医療情報プラットフォーム	民間・自治体PHRサービス・
種別	3文書： 健診結果報告書、診療情報提供書、退院時サマリー 6情報： 傷病名、薬剤・その他アレルギー、感染症、検査（救急・生活習慣病）、処方	3文書6情報（長期）、ライフログ（家庭血圧／体重／歩数／体温／SpO2）、終末期の救命意志 介護情報、PRO（Patient Reported Outcome） Etc.
期間保存	5年以内	生涯も可 （サービスによる）
主体運用	国	民間・自治体
管理	国、医療機関	本人
連携先	医療、介護、薬局、自治体	医療機関、薬局、自治体、民間企業

PHRネットワーク

AMED「医療高度化に資するPHRデータ流通基盤構築事業」より

: PHRデータハブ（分散管理型PHR流通基盤）を介したデータ流通イメージ



各PHRサービスからハブ（分散管理型PHRデータ流通基盤）を介して、本人・家族の意思で簡単、正確、迅速、安全に地域におけるPHRデータの共有が可能となる（データは各サービスが保有し適宜ハブを介して流通）

PHRを活用した医療・健康・介護DX実現のステップ

目指す姿
実現

Step 4 : データ流通基盤の全国展開

- 全国でのデータ交換、利活用を実現

**自立・自走可能な仕組みとして
発展するとともに全国へ横展開**

- 全国展開により、3つの実現に貢献
 1. 健康寿命の延伸
 2. 医療費の適正化
 3. 新規ビジネスの創出（二次利用）



Step 3 : データ流通基盤の実装

- 生涯の各段階に応じたPHRの選択
各サービス間や地域をまたいで利用を実現
- PHRデータの活用による医療の質の向上を実現

**イベント、先行投資、研究開発等
を活用し、社会実装。価値を確認
するとともにロールモデルに**

Step 2 : データ流通基盤の実証

- 求められる機能を定め、開発・実証し、成果物を公開
- 仕様書兼報告書
「PHRデータ相互運用モデル」
- を整理し、公開予定

Step 1 : ルール整備

- 民間事業者への3つのガイドライン
 1. サービス提供
 2. データ管理
 3. 利活用

民間事業者のPHRサービスに
関わるガイドライン策定

医療高度化に資する分散管理型
PHRデータ流通基盤に関する
研究開発事業

医療高度化に資する分散管理型
PHRデータ流通基盤に関する
実装取組（予定）

医療高度化に資する分散管理型
PHRデータ流通基盤の全国展開
によるビジネス創出取組（予定）

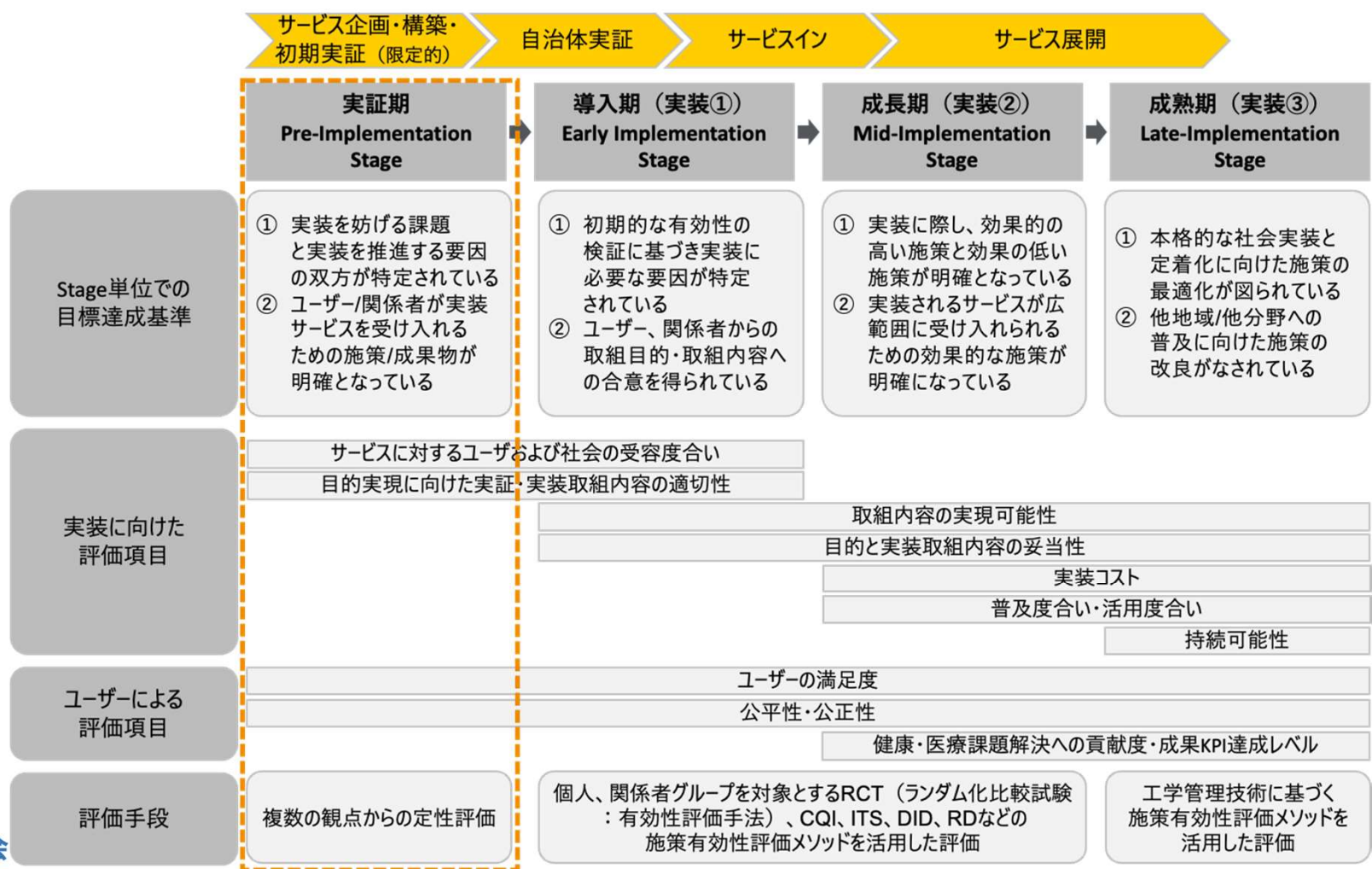
<2021~2023年（令和3,4年）> *2023~2024年（令和5,6年）> <2025年（令和7年）以降>

<20xx年>

PHRサービスの実装ステップにおける位置づけ

実装科学理論（Implementation Outcome Frame）を基に、実装フェーズに合わせた評価指標を整理

実装科学理論に基づく「PHRサービス」実装ステップ案



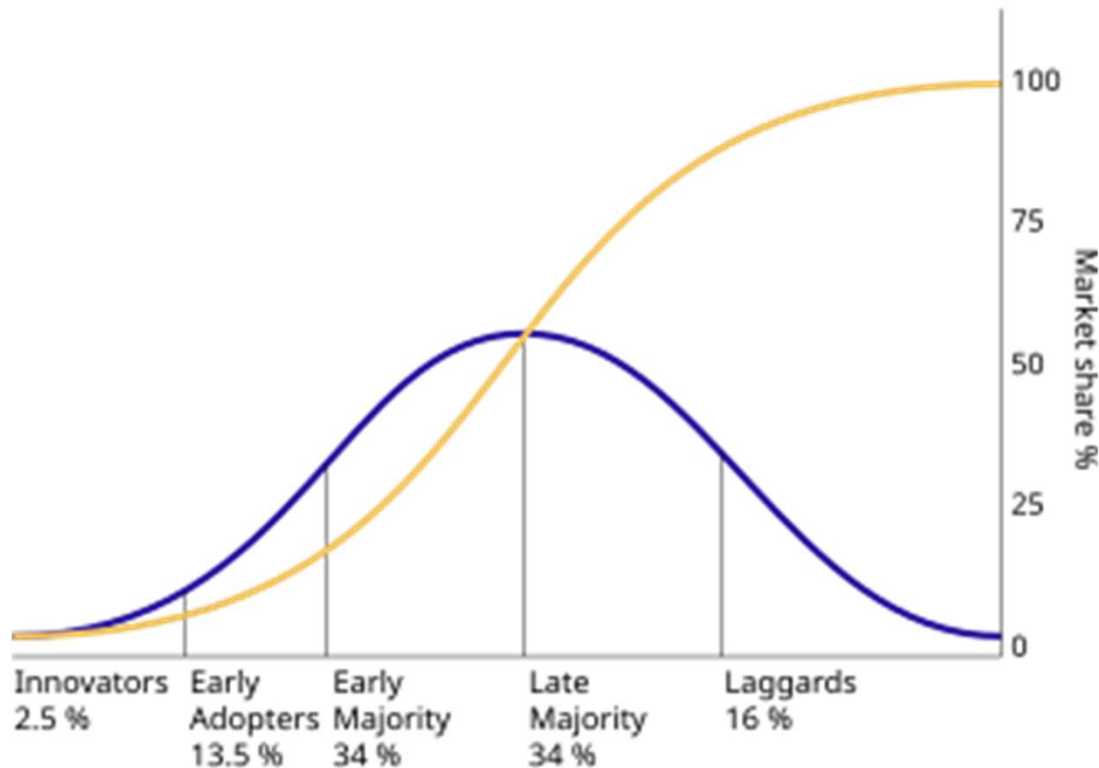
データを活用・共有すると医療・介護の質が高まる／業務を効率化出来る／地域の健康寿命延伸に繋がるとの**実践、教育・啓発、『納得感』**が重要



イノベーションの普及

Diffusion of innovation

普及の戦略を考える！

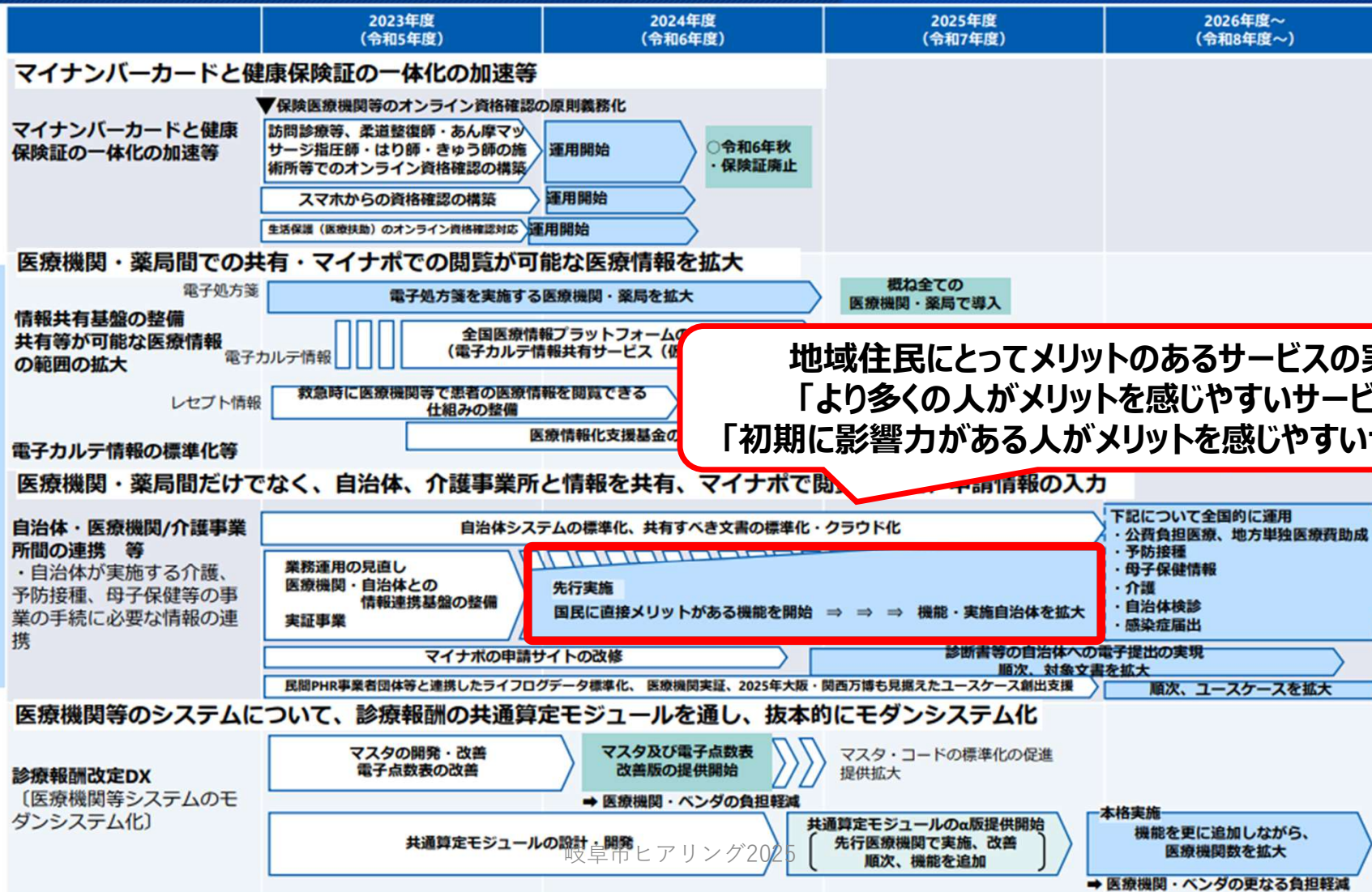


- イノベーター (2.5%): 新しい技術やアイデアを最初に採用する人々。
- 初期採用者 (13.5%): 比較的早く採用し、影響力がある。
- 初期多数派 (34%): 慎重に採用を決める大部分。
- 後期多数派 (34%): 大多数が採用してから導入。
- ラガード (16%): 最後に採用し、変化に抵抗する層。

エベレットロジャーズ著. イノベーションの普及
第5版, P229

医療DXの推進に関する工程表〔全体像〕

第2回医療DX推進本部
(令和5年6月2日)資料3



地域住民にとってメリットのあるサービスの実現
「より多くの人がメリットを感じやすいサービス」
「初期に影響力がある人がメリットを感じやすいサービス」

全国医療情報プラットフォームの構築

岐阜市ヒアリング2025

PHRを活用した健康・医療・介護DXの例

メリットが分かりやすい領域でスタートし、**価値を共有**しながら徐々に拡大

【母子手帳】



電子化により、母子の健康やワクチン等に関わる情報の管理と共有の効率化を実現
生涯PHRの起点となり他のPHRと繋がる

【生活習慣病】



PHRデータを健康観察・指導に活用
市民ユーザーの行動変容、医療サービスの向上に役立てる

【介護・救急・災害】



介護・医療の現場や救急時に、病歴や服薬情報、救命処置希望の有無等を確認
災害時の市民の健康管理・支援に活用

PHRを活用して住民ひとりひとりが望む医療や健康・介護支援を提供できる仕組みを構築し、実装・普及していくべきタイミング

京大データヘルス研究会（PHRの標準化および利活用促進についての産官学連携での共同研究）

【概要】

京大データヘルス研究会は、PHRの標準化および利活用促進についての産学連携での共同研究を実施

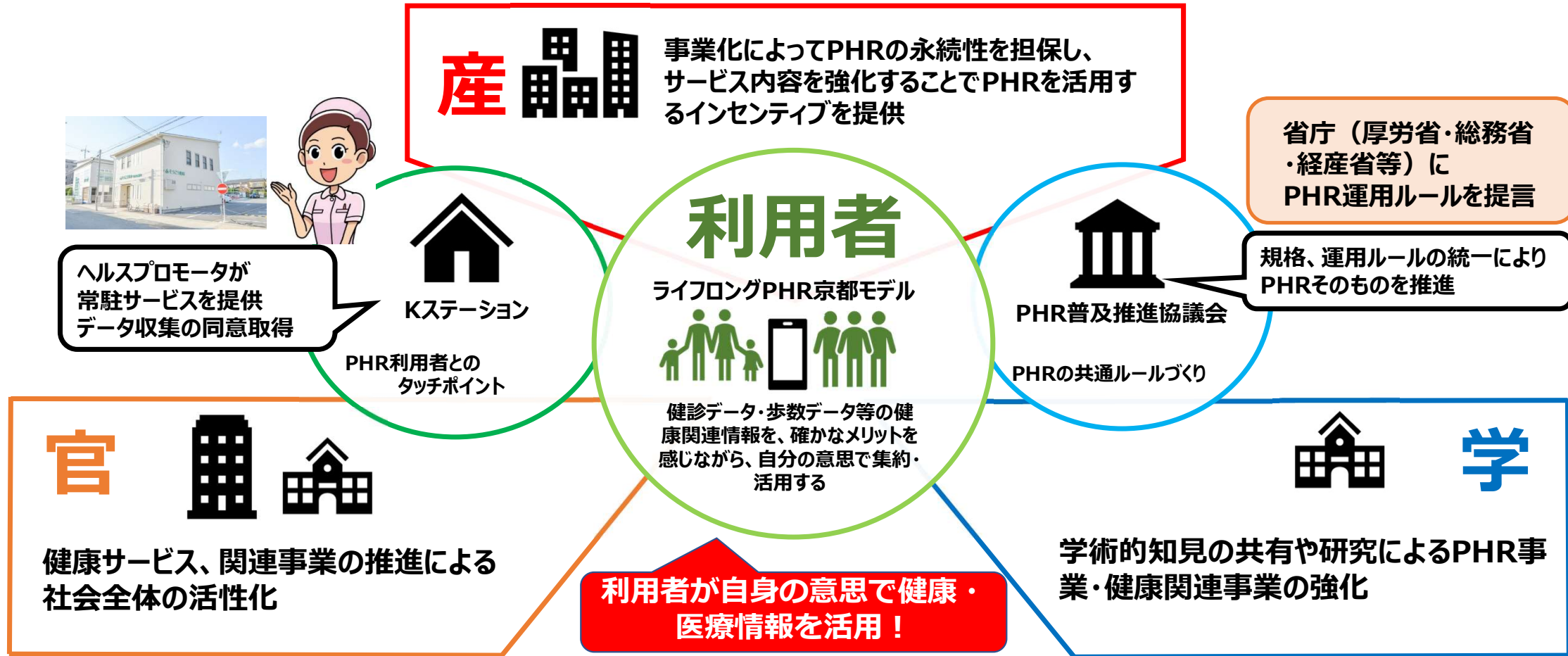
【研究内容】

1. 学校保健で保有している既存データの確認
2. PHRデータの取り扱いに関わる法的課題
3. ビッグデータへのAIアルゴリズムの応用等データマイニング技術に関する情報収集
4. PHRデータ、ライフログの取得方法、取得項目の標準化の検討
5. EHR等との連携に関わる課題抽出
6. その他PHRの利活用に関わる情報収集、課題の検討

【参加企業・団体】



利用者を中心にした産官学連携による『ライフロングPHR京都モデル』



産官学の連携とリアルなタッチポイントにより、強力に事業を推進

データを活用した健康づくりモデル事業 京都市との共同事業

京都市と共同での健康づくりの拠点「Kステーション」にお越しください。

「Kステーション」とは？

健康づくりサポートの専門家「ヘルスプロモーター」が常駐し、定期的に、対面で、参加者お一人ひとりが主体の健康づくりをお手伝いする拠点です。

【場所】 元教業小学校 体育館 京都市中京区大宮通御池下る三坊大宮町121-2

【募集者数】 約50名

【取り組みの内容】

①2週間に1回、Kステーションで健康測定

測定結果は、ご自身のスマホで確認可能。結果に基づき、専門家がお1人お1人に健康づくりをご提案。

②スマートフォンアプリ『健康日記』をご提供

毎日の歩数や、体調、体温、体重・体組成、血圧をご入力自らの健康づくりの記録としてご利用いただきます。

③期間中、**体力測定**を2回実施します。

歩く速さや体のバランス、握力を測定



健康づくりサポートの専門家が毎回アドバイスします。



データを活用した健康づくりモデル事業 in 京都／京北

1. **本人の意思**を尊重し、『PHR＝個人の健康データ』を活用して『よりよく生きる』を実現・

実証

2. K-Station／プロモーター

3. 地域の医療機関との連携

4. 学校教育の実践

5. 行政のデータベースと連携した
効果検証・エビデンス構築

健康タッチポイント『Kステーション』



KYOTO
SATOYAMA
LAB
Collective researches of
sustainability

記録アプリ
『健康日記』



利用者



健康アドバイザー
『ヘルスプロモーター』



地域の医療機関



PHRを活用した健康作り実現に向けて関係者が一体となって仕組みを作り、広げることが大切（京都の取り組み）

目的：

PHRの適正な普及と社会実装の推進を通じて健康長寿のまち京都を実現することを目的に、地域の人々に健康・医療・介護に関わるサービスを提供する、医師・歯科医師・薬剤師等の連携により、健康・医療・介護に関わる情報を本人・家族の意思の下でPHRを通じて共有する仕組みを実装するとともに、その効果や課題の検討、情報発信を行う。

構成メンバー：

京都府医師会、京都府歯科医師会、京都府薬剤師会、京都府看護協会、健診センター（武田病院、京都工場保健会）健康保険組合（ワコール健康保険組合、全国健康保険協会 京都支部）、市民・患者会、京都大学、京都市

具体的活動内容：

- PHRのあるべき姿、目指す形
 - ✧ PHRという言葉の定義を明確にして議論しコンセンサスを形成
- PHRを活用した健康・医療・介護・生活支援の普及促進
 - ✧ 医療・保健側への普及
 - 各会で実施されている勉強会でのPHR紹介、等
 - ✧ 市民側への普及
 - 広報媒体（パンフ、ポスター等）の作成配布、等

地域のステークホルダーの理解／後押しが不可欠！

第1回会議：2022年11月
第2回会議：2023年1月
第3回会議：2023年6月
第4回会議：2024年8月
第5回会議：2025年3月

京都市医療・介護等統合DB分析事業

- 京都市では、疾患の発生状況や、その予防・治療・介護の実態を明らかにし、健康寿命の延伸に活かすことのできるエビデンスの収集を図ることを目的に、医療レセプト、健診結果、介護レセプト等の統合データを分析する事業を推進
- 京都市と国立大学法人京都大学、ヘルステック研究所(株)、および他企業とともに、京都市統合データを用いた肺がんや生活習慣病に係る共同研究を実施

(広報資料)



京都市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

令和3年5月28日
京都市保健福祉局
(担当 健康長寿企画課 222-3419)

産学公の連携による医療、介護等の統合データ分析事業の推進について
(令和2年度の分析結果と令和3年度の実施)

○ 本市、京都大学、民間企業の役割分担

実施主体		役割
京都市		- 分析テーマの検討・設定 - 統合データの京都大学への貸与 - 分析結果の公表
京都大学		- 分析テーマの検討・設定 - 統合データに基づく分析 - 分析結果の本市への報告
民間企業	アストラゼネカ株式会社	- 分析テーマの検討・設定 - 分析に必要な費用や人員の確保への協力
	東和薬品株式会社	
	TIS 株式会社	
	株式会社ヘルステック研究所	共同研究の実施に向けた京都大学・企業間のコーディネート

※ 分析テーマの検討・設定は、京都市、京都大学、民間企業の三者が共同で行います。

※ 本市が構築した統合データは、令和2年度と同様に京都大学が責任をもって管理することとします。

京都市統合データベース研究 産学公の関係



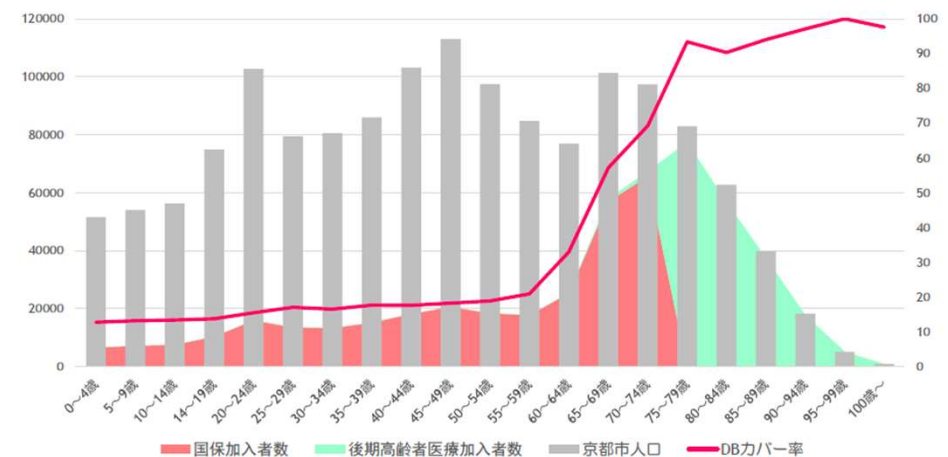
京都市統合データベースの概要

データ	期間	件数	主な内容	備考
住民基本台帳	----	----	住所コード、世帯構成	転出者、死亡者を含む
死亡個票	H30年1月～R1年12月	約1万件/年	死亡日、死亡理由	
国民健康保険レセプト	H25年5月診査～H31年4月診査	約500万件/年	診療行為、疾患名	医科、調剤、DPC、歯科
国民健康保険特定健診	H25年度～H30年度	約6万件/年	問診結果、検査結果	
後期高齢者医療レセプト	H25年5月診査～H31年4月診査	約600万件/年	診療行為、疾患名	医科、調剤、DPC、歯科
後期高齢者医療後期高齢者健診	H25年度～H30年度	約3万件/年	問診結果、検査結果	
介護保険レセプト	H25年5月診査～H31年4月診査	約200万件/年	サービス給付状況	
介護保険要介護認定	H21年度～H31年度	約7万件/年	調査項目(74項目)、要介護度	
介護保険基本チェックリスト	H23年度～H28年度	約10万件/年	質問項目(25項目)	

一意の個人IDにより、各データを連結可能。

- * 死亡個票、介護保険基本チェックリストを除くデータの期間は、R3まで追加予定。
- * 追加データとして、肺がん検診の結果、肺がん登録のデータを2022年度に連結

統合データのカバー率（医療保険分）



75歳以上については、生活保護被保護者※を除いて、ほぼ全数を収録
 ※75歳以上人口 202,987人（H29年10月1日時点）
 75歳以上被保護者 9,723人（H29年7月31日時点）

高齢者の網羅率が高い

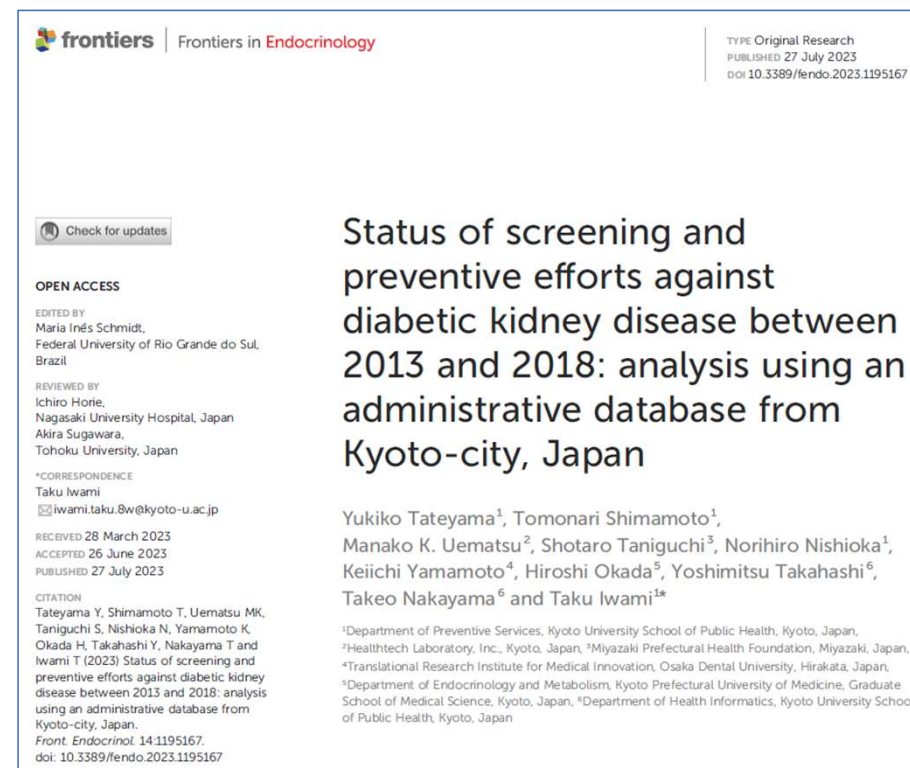
京都市医療・介護等統合DB分析事業で分かったこと①

【令和3年度分析】

糖尿病性腎症の重症化予防対策およびスクリーニングの実態把握

<結果のサマリー>

- 「糖尿病患者」の平均年齢は、6年間でそれぞれ73歳から75歳に上昇
- 腎症のスクリーニング検査となる「尿中微量アルブミン（定量）」および「尿蛋白検査（定量）」の実施割合は、10%程度と低かった。
- 定期受診（3ヵ月に1回以上の糖尿病薬処方）は、64.0～67.2%と低かった。
- 定期検査（3ヵ月に1回以上のHbA1c検査の実施）も30.6～36.5%であり、先行研究に比べると割合が低かった。
- 重症化予防介入となる医療機関での「栄養指導」「糖尿病透析予防指導」の実施割合は、約40%、約1%と低かった。
- 重症化予防として使用を推奨されているSGLT2阻害薬、ARBの処方率は年々増加傾向にあった。（ACE阻害薬は横ばい）



重症化予防介入における「エビデンス・プラクティスギャップ」の存在が明らかとなった

京都市医療・介護等統合DB分析事業で分かったこと②

【令和4年度分析】 糖尿病性腎症の重症化予防対策の実施状況に関する地域差の検討（行政区別）

＜結果の一部＞

- 都市部は重症患者（腎症に至った患者）が比較的多い
- 定期的な「処方」および「HbA1c検査」の実施状況は、都市部では男女ともに比較的高いが、農村部は男性ににおいて低かった。
- 定期的な合併症検査は、都市部・農村部とも実施割合が低い、特に農村部は低い傾向にあった。

糖尿病性腎症患者の高齢化および地域差を踏まえた重症化予防対策が必要であることが示唆された。



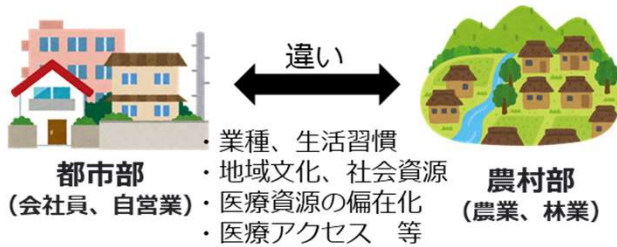
PHRを活用した介入研究へ！

行政の持つデータとPHR介入の連携モデル

厚生科研 研究課題名：都市・農村における生活習慣病の実態比較およびパーソナルヘルスレコードを活用した重症化予防介入プログラムの開発と効果検証

【課題】

生活習慣病やその重症化に起因する業種・地域間格差の存在が課題



業種・地域間格差を踏まえた生活習慣病やその重症化を予防するために、地域に即した対策（介入）が必要

課題解決に向けて

都市部・農村部の住民に向けた、地域文化・環境等を考慮した包括的なサービスモデルを確立し、生活習慣病の発症予防および重症化予防介入に対する効果を明らかにする

京都市統合DB事業の成果を活用

【方法】

対策の三本柱



【研究計画】

1年目

各地域課題の抽出
(ベースライン調査、レセプトデータ分析)

2年目

生活習慣病の発症・重症化予防プログラムの開発（教材開発）

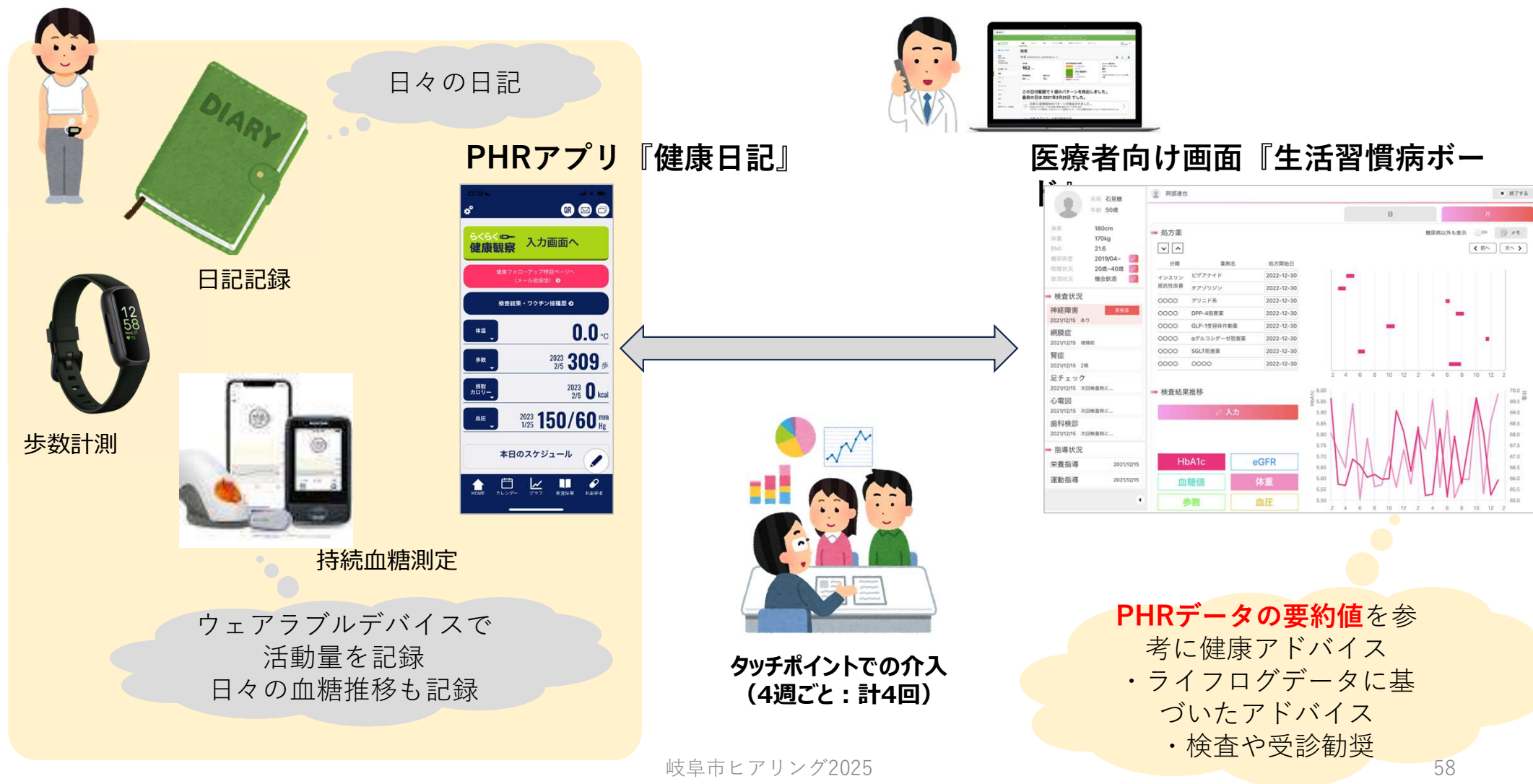
3年目

開発したプログラムの効果検証

PHR事業化モデルの成果を活用

- 対象者：都市部および農村部の生活習慣病予備軍および有病者
- 実証の場：地域コミュニティ（廃校の再活用、オープンイノベーション型事業創出拠点）

PHRを活用した生活習慣病改善支援を目的とした介入研究（RCT）



大学発 PHRを用いた健康増進イベント ウォーキングチャレンジ

- 京大、京都発！
- 毎年11月の1か月間、ヘルシーキャンパスの基幹イベントとして、ウォーキングチャレンジを開催。
- 京都市の協賛にてイベントを実施。
- PHRアプリを通じて歩数カウントを行う→PHRを活用した健康増進の入り口に
- 2022年度から大学保健のネットワークを活用し、**全国規模へ**
- **※全国に拡大し、2024年度は7000名以上が参加！**



PHRアプリ



PHRを活用した健康増進を体験し、
普及につなげる



大学発 PHRを用いた健康増進イベント ウォーキングチャレンジ

【WC2022チームの作り方】

必要な物

- ちょっと健康を意識したい気持ち
- 歩数を測るもの：スマホアプリ、アナログの歩数計などをご利用いただけます。

スマホアプリとして「健康日記」をご利用の場合、健康日記を立ち上げるだけで歩数をマイページへ自動送信することができます。

(初めにマイページより健康日記アプリとの連携設定が必要です)

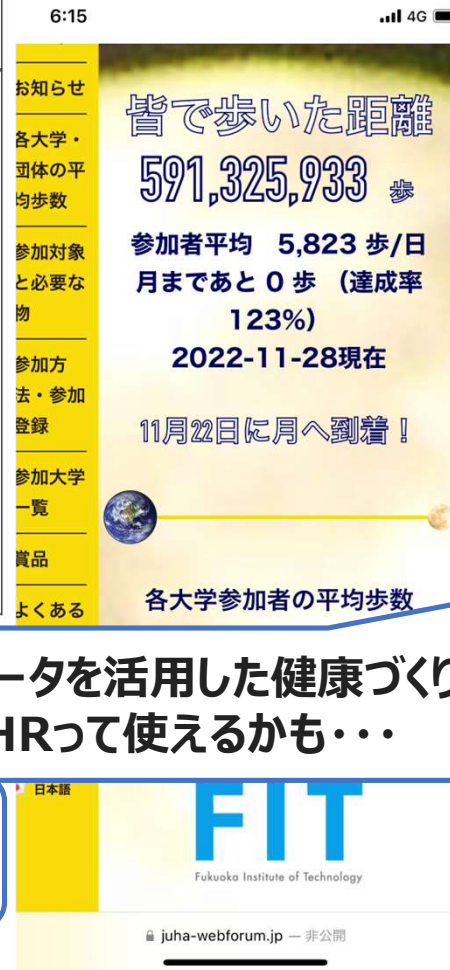
「健康日記」アプリのダウンロードはこちら
[版](#) [\[Android版\]](#)

TOPへ

● PHR（デジタル活用）の便利を体感

● データを活用した健康づくりを体験
 ● PHRって使えるかも…

● みんなで楽しく運動！
 ● 月までたどり着いた！！



walking challenge walk to the moon

(月まで歩こう！)

WC2023 結果

参加者全員の1か月間の合計歩数は10億63万7417歩に到達。
無事に月までの往復を達成しました！

2,000人が参加して1か月間毎月まで行け

大学発の健康づくりの取り組みを全国へ広げてい

2018年度～2020年度はヘルシーキャンパス京都
2021年度よりHCKN様の支援をうけつつ、JUHA
2022年度、JUHAの会員へ広く呼び掛けた実施とな
2023年度、月までの往復を達成！



国際的な潮流

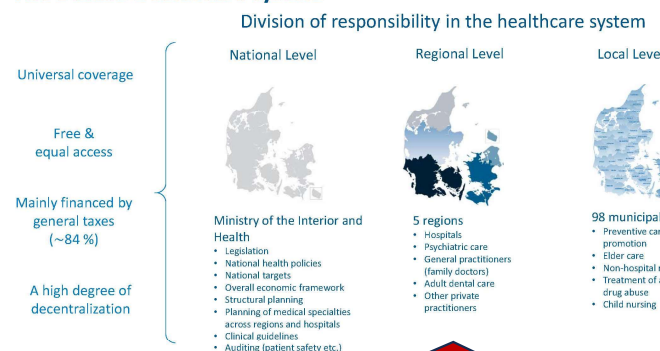
- デジタルヘルス先進国のデンマークの現状
 - 国全体で戦略的取り組みを推進。診療情報、ワクチン等の共有は広く普及。
 - コロナで便利さを実感。
 - 国民の『トラスト』が最重要。**
 - EHDSについては、若干懐疑的も参画するしかない。
 - ライフログデータの標準化や共有、民間事業者との連携には至っていない。**



sundhed.dk



The Danish healthcare system



国、州、地域レベルで役割を明確にしてトータルコーディネート

岐阜市ヒアリング2025

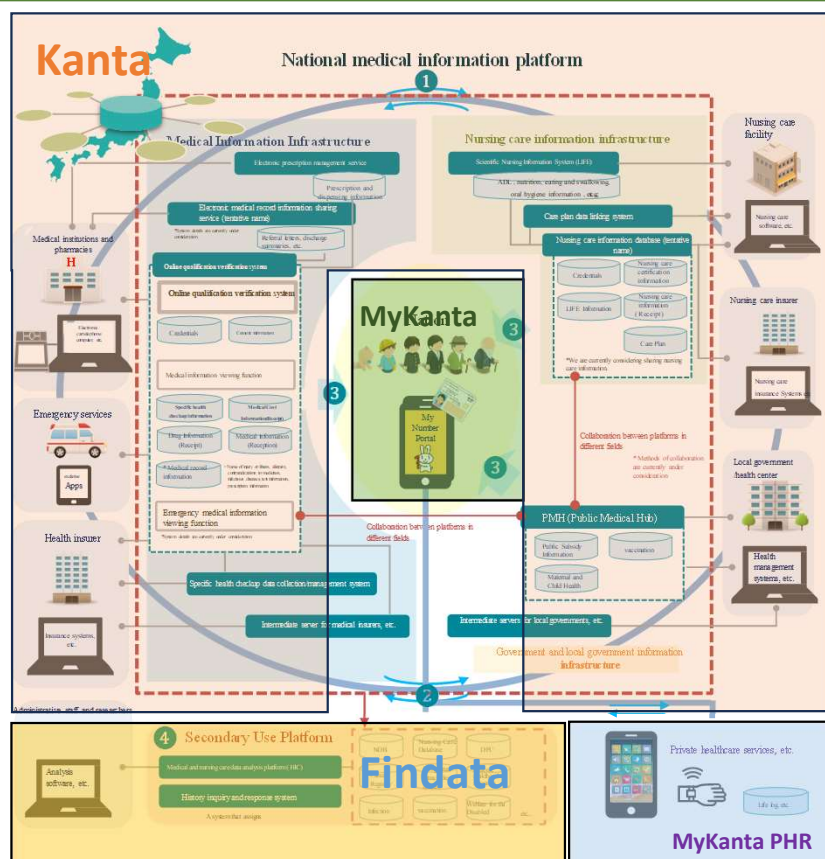
長い歴史の中で進化／国民の信頼を得る

A long history of data collection



国際的な潮流

- デジタルヘルス先進国のフィンランドの現状
 - 国全体で戦略的取り組みを推進。診療情報、ワクチン等の共有は広く普及。
 - 医療データの二次利用も推進。データを通じて、エコシステム、イノベーションを起こす戦略



Kanta group of public electronic health record services in Finland that share and store medical, prescription, and test results on a nationwide scale. It is an important platform for patients and healthcare professionals to securely access and contribute to the efficiency of medical care and patients' own health management.

MyKanta

MyKanta is a personal online portal for Kanta services that allows you to view and manage your prescriptions and health records. It is very convenient to check one's medical data and easily update electronic prescriptions and organ donation intentions.

MyKanta PHR

MyKantaPHR is a system that enables individuals to record and link health data collected from smartphones and wearable devices. Self-management data can be shared with medical professionals through applications, etc., and can be used for medical care and preventive care.

Findata

Findata is the Finnish agency that oversees permission and data management for the use of social and medical data for research and development purposes. It emphasizes the protection of personal data, facilitates research and ensures privacy through centralized data provision and review.

アクセシビリティを重視

PHRについては本格運用停止中

ライフログデータの標準化や共有、民間事業者との連携には至っていない

●●● PHRを活用した健康・医療DXで世界をリードする！ 日本の強み

1. 核となるデータがある（けんしん文化、母子手帳～学校健診～事業主健診・・・）
2. まじめな国民性、手帳文化（母子手帳、血圧手帳、糖尿病手帳・・・）
3. 健康・医療への高い関心
4. 世界に先駆けて迎える超高齢社会
5. 優れた国民皆保険制度／信頼できる医療体制に上乗せするセルフケアのポテンシャル
6. 120,000,000人を対象とした複数サービスによる『共創＋競争』
7. それぞれの地域、事業者の強み／多様できめ細かいサービス
8. 一旦まとまると強い。一体感のある国民性
9. 日本／京都ブランド
10. 大学のまち／KUSPH

それぞれの地域／組織の強みも活かす！

ライフログにライフログを含むPHRデータを本人意思で活用することのできる社会の実現
複数のPHRサービス間でPHRデータを流通させて価値を増幅させるモデルの実現

理念は分かったけど・・・

地域住民の多くはお年寄りでスマホで健康管理なんて・・・

医療の現場はデジタル化が進みにくい・・・

医療者・地域のリーダーがそう思っているうちは広がらない！

（苦手な人も）医療者・地域のリーダーからデジタルの積極活用を！！

PHR導入で地域医療／住民サービスにどう貢献するのか？・・・

ライフログを活用した医療の質向上＝患者・住民サービスの向上

ライフログデータの活用による健康増進／地域の活性化・持続性アップ°

Etc.

PHRの活用により実現すること

- ① 健康・医療・介護に関わる情報の**生涯にわたる連続的な活用**
- ② データに基づいた生活習慣の改善による健康増進、病気の予防、健康寿命の延伸
- ③ 日常的な健康情報の活用による医療・介護の質の向上と効率化の両立
- ④ 救急災害時、感染症パンデミック時等の健康管理、医療提供の質向上と効率化
- ⑤ データの分析・研究の推進によるデータに基づく施策の実現、健康管理・医療の質向上、効率化、無駄の削減、新しい産業の創出、発展

医療・健康支援・介護DX実現には**PHR標準化**が不可欠！

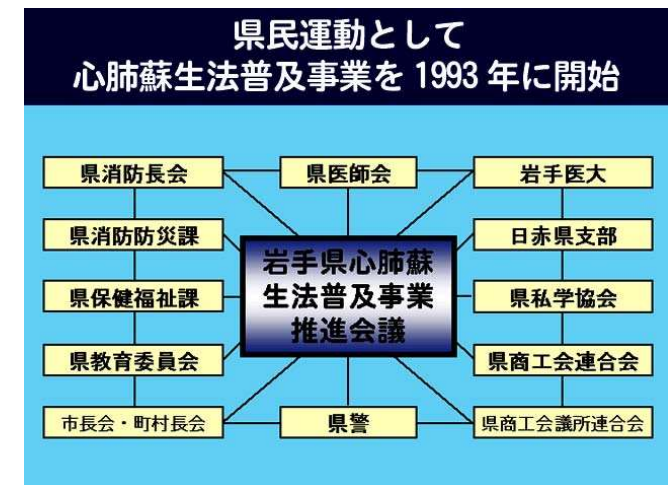
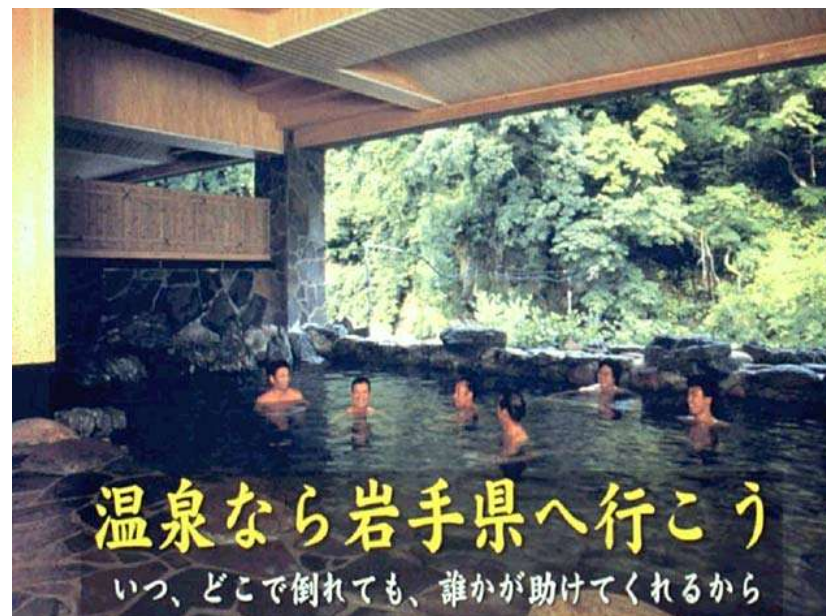
医療者／医療機関／行政のリーダーシップが重要！！

ロールモデルを作り、共有する

CPR SAVES LIVES



Yours or that of someone close to you



豊中の救命力「世界一」

病院以外の場所で心停止した人の生存率が全国トップレベルの豊中市が10日に「救命力世界一宣言」を出す。同市は救急車台数や病院数が充実しており、救命講習を修了した市民の数も多い。市民、救急隊、病院の連携を「救命力」と位置づけており、宣言を機に市民の関心をより高めるのが狙いという。（柳谷政人）

市によると、2005～08年の4年間に心臓疾患が主な原因で心肺停止し、家族らがすぐに通報した211人のうち、50人が1カ月後も生存していた。同市は08年、市域面積に占める救急車台数、高規格救急車台数、救急救命士数で、人口10万人以上13.0%を大きく上回った。全国トップの富山県（17.6%）、世界的にトップレベルとされる米・シ

アトル（06年5月から1年間で生存退院が16.3%）も超えていたという。同市は08年、市域面積に占める救急車台数、高規格救急車台数、救急救命士数で、人口10万人以上13.0%を大きく上回った。全国トップの富山県（17.6%）、世界的にトップレベルとされる米・シ

心肺停止→1カ月後も生存=23.7%

均より約3分も早かった。市内には救急医療機関が9カ所あり、重篤な患者を扱う3次救急の医療機関も2カ所あるため、短時間で搬送ができる。市民啓発も盛んで、救急救命講習の修了者数が08年は人口の2.2%になり、全国平均の倍近い。

市では、世界レベルの救命率があるのは、市民が救命手当を行い、救急隊がすぐに駆けつけ、高度な医療機関に搬送できる環境があると考え、10日の消防出初め式で「世界一宣言」を出すことにした。

来年度からは、小学5、6年生の全員に救命講習を実施する「ジュニア救命サポーター」事業を行う。小学生向けに全市で行うのは全国初という。加えて、9月にもシンポジウムを開く予定。

会見した浅利敬一郎市長は「救える命を救うために何ができるのか、世界一宣言を機に多くの市民に発信していきたい」。谷口伸夫消防長は「患者が社会復帰するためには、救急到着までに行う市民の救護措置が中心。市民向けの救命講習をもっと進めたい」と話していた。

あす市が宣言へ

岐阜市をPHRを活用した健康長寿のまちのロールモデルに！



By Chat GPT 4

Take home message

1. 『PHR＝個人の健康データ』を活用した地域の健康・医療・介護等の質向上と効率化の両立が求められている！
2. 地域／産官学民医の連携とリーダーシップが必要
3. すでにPHRは実装フェーズにある！
4. ALL JAPANで、良質なPHRサービスを活用した健康作り／医療・保健・介護DXを実現しましょう！

Take home message

1. 『PHR＝個人の健康データ』を活用した地域の健康・医療・介護等の質向上 **PHR導入に当たっては、標準化への対応の意識を！**
2. 地域／産官学民医の**連携とリーダーシップ**が必要
3. すでにPHRは**実装フェーズ**にある！ **具体的な検討をする時期**
4. **ALL JAPAN**で、良質なPHRサービスを活用した健康作り／医療・保健・介護DXを実現しましょう！

一緒に岐阜市をPHRを活用した健康長寿のロールモデルに！

Questions?



iwami.taku.8w@kyoto-u.ac.jp